

令和6年度第1回佐賀市立図書館協議会

令和6年9月11日(木) 11:00~
佐賀市立図書館2階 多目的ホール

会 次 第

1. 委嘱状交付
2. 館長挨拶・職員紹介
3. 協議会
 - (1) 会長挨拶
 - (2) 副会長選出
 - (3) 議事
 - ① 前回協議会報告
 - ② 令和5年度の図書館事業報告
 - ③ 令和6年度重点事業の経過報告

佐賀市立図書館協議会委員名簿

(任 期) 令和5年12月1日～令和7年11月30日

No.	種 別		氏 名	備 考
1	会長	推薦	しらね けいこ 白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
2	委員	推薦	いえなが ひろゆき 家永 裕行	佐賀市立城西中学校 校長
3	委員	推薦	あらき けん 荒木 健	佐賀市 PTA 協議会 会長
4	委員	推薦	おおつか あつこ 大塚 敦子	図書館を友とする会・さが 世話人
5	委員	推薦	はらだ たかひろ 原田 隆博	佐賀新聞社 生活文化部 デスク
6	委員	一般公募	うめざき よしたか 梅崎 義高	
7	委員	一般公募	たかはら ようこ 高原 陽子	
8	委員	一般公募	いのうえ あきよ 井上 章代	
9	委員	一般公募	ふくだ えみこ 福田 重満子	
10	委員	一般公募	ほりかわ ちあき 堀川 千晶	

図書館協議会関係法令

『図書館法』(抄)

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会(特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

『佐賀市立図書館条例』(抄)

(図書館協議会)

第9条 法第14条の規定に基づき、図書館に佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、15人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、及び学識経験のある者並びに公募した者の中から、教育委員会が任命する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

『佐賀市立図書館条例施行規則』(抄)

(図書館協議会)

第16条 条例第9条に規定する佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。(平12教委規則7・旧第15条繰下)

(会議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。(平12教委規則7・旧第16条繰下)

(庶務)

第18条 協議会の庶務は、図書館において処理する。(平12教委規則7・旧第17条繰下)

議事①: 前回協議会報告

1. 議事録

別添のとおり

2. 対応を行った案件

(1) 外国語の利用案内について(総務企画係)

【指摘内容】

- ・外国語の利用案内について、これからまた言語を増やしていくことは非常によいことだと思った。この利用案内について、図書館以外の場所にはどのようなところに置いているか。外国籍の方がよく集まれるようなところにも置くと良いのではないか。
- ・大学などに海外からの留学生が入っていると思う。外国語の図書館利用案内について、大学にも送付しているか。沢山は置けないと思うが、何部か置いていただいたら良いのではないかと思う。

【対応状況】

- ・タガログ語(フィリピン)による利用案内について作成を終え、国際課、佐賀県国際交流プラザ、佐賀大学、西九州大学、西九州短期大学部に日本語と外国語の利用案内(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語)の設置依頼を行っている。
- ・他の市内の大学等についても今後設置依頼を行う予定である。

(2) 電子図書館システムの学校への広報について(総務企画係)

【指摘内容】

- ・電子図書館について、具体的などのようなものがあり、どのように学習に生かすことができるのか学校にアピールしていただけたらと思う。

【対応状況】

- ・R5年度は、5月の校長会、6月の佐賀市教育情報化推進リーダー研修会で、電子図書館システムの紹介と活用をお願いを行った。また、特別支援学級での活用についてお願いしている神野小学校には、8月2日に個別訪問し、教職員への説明を行った。
- ・R6年度は、学校の利用状況の把握と電子図書館に関する周知を目的に、教員及び学校司書に対してアンケート調査を行った。現在集計中であり、横展開できそうな活用事例を見つけて、他自治体での事例と併せて各学校に周知したいと考えている。また、7月29日に兵庫小学校を個別訪問し、教職員への説明を行った。

(3) 館内案内の多言語/やさしい日本語対応について(総務企画係)

【指摘内容】

- ・外国の方たちが困らないように図書館利用案内を新しくして頂いているようだが、館内の掲示に

議事①: 前回協議会報告

ついて利用者からの声があったので紹介させていただく。漢字の熟語が多く理解しづらいため、簡単な言葉に置き換えて欲しいとの声だった。また、トイレについて英語案内がないので手を入れていただけたら良いと思う。

・使い方まで多言語で表記するとなると大変かなと思う。場所だけなら絵などで表示できると思う。

【対応状況】

・トイレの緊急呼出ボタンについて、流水ボタンと誤認されて押されることが多いため、「水を流す(Flush)」ボタンと「緊急呼び出しボタン(Emergency Call Button)」について、ふりがなと英語表記を行った。



・児童コーナーの掲示物について、特に内容が分かりづらいものから「やさしい日本語」での表記へ変更していく予定である。

3. 継続対応中の案件

(1) 障がい者向けサービスについて(サービス一係)

【指摘内容】

・宅配サービスの周知強化を行って欲しい。

【対応状況】

・現在は、サービス内容について図書館のホームページや市報において周知している。また、市が作成し、障がい者の方へ配布している冊子「障がい者福祉サービスのご案内」の中でも「図書等の宅配郵送サービスについて」案内を行っている。

・今後もサービスが必要な方へ情報が届くよう工夫しながら周知を図っていきたい。

(2) 利用者等へのインタビュー調査について(総務企画係・サービス一係・サービス二係)

【指摘内容】

・利用者から意見を聞き取りするためにインタビュー調査を行ってはどうか。また、市内に多くの外国籍の方がいるが、その方たちの希望を聞き取りする取り組みを行ってはどうか。

【対応状況】

・読書バリアフリーに関する計画を策定したり、外国籍の方へのサービスを再検討したりするにあたり、個別に当事者の方々に意見を伺う場が必要だと考えている。

議事①: 前回協議会報告

(3) シンポジウムの開催について(総務企画係)

【指摘内容】

- ・「図書館を語る会」のようなシンポジウムを開き、色々な立場の人から図書館に対する思いや利用の仕方などを語ってもらうような機会をつくっても良いのではないか。

【対応状況】

- ・ボランティアの皆様や市民の皆様と図書館について語り合う意見交換会等の開催も検討していきたい。

4. 大規模改修に関する意見

① 展示スペースについて

- ・2階で展示を行ったが、わざわざ2階まで上がって展示に来てくれる方が少なかった。1階で展示ができると、通るついでに見てくれる人もいると思う。有料でもいいので1階や閲覧室内などに展示ができるスペースがあればいいと感じた。何か1階に皆さんの作品など展示できるスペースが少しでもあれば嬉しい。
- ・1階のスペースでそういった展示があると、2階の本展示にも興味を持つ人が出てくるかもしれない。

② ボランティアについて

- ・地域に根差した図書館ということであれば、もっとボランティアの活用に積極的であってほしい。
- ・今度の大規模改修の際も、ボランティアの活動をもっと広げるように考えていくとよいと思う。そういう目で見えていくと凄く面白い図書館になるのではないかと思う。

③ 子どもの利用について

- ・小中学生にこそ本に出会って、親しんで欲しいと感じるが、ゲームに夢中の子供が多い世の中であり、ゲームは音が出る=図書館とは相容れない存在となっている。ゲームはAIに情報が操作されて、自分の趣味・指向に向けたものしか入ってこないが、図書館は思いがけない情報や本を手にしたたり、出会ったりできるきっかけとなり得る存在である。「子供の成長に役立つ図書館」に向けて、ゲームを好む子供でも来館しやすい、ハードルの低い環境づくりをお願いしたい。
- ・DVや児童虐待について、特に子どもは携帯も持たず、助けを求めにくいケースが多いことから、図書館に警察、民生委員、スクールカウンセラー等のプロ市民が定期的に来てもらうようにして、その来館日時を表示するような仕組み作りが出来ないだろうか。

議事①: 前回協議会報告

【その他 施設・設備に関する要望】

- ・2階書架へのアクセス、授乳室、トイレの洋式化等。
- ・安全性や緊急性を要する部分については、大規模改修を待たず早急に対応していただきたい。
- ・今の一階の照明について、黄緑っぽい色をしている。もし普通の色にできるならそうして欲しい。
- ・バスケットボール用のゴールを一基公園に設置するなどしても良いのではないか。公園で運動して疲れたら本を読みに来るなど出来るのではないかと感じた。

【その他 ソフト面に関する要望】

- ・大規模改修について非常に期待している。図書館について力を入れている自治体も沢山あるので、モデルになる図書館も多いと思う。今の図書館の良いところも沢山あるので、あまり奇抜な方向に走らずに検討して頂ければと思う。
- ・「多様な人々が集う図書館」として、本と人が会うだけでなく、人と人が会える場所になって欲しいと思う。
- ・これからの世の中高齢化が進むし、高齢者にとって図書館はサードプレイスというよりセカンドプレイスという意味合いが強いとも感じている。子どもに対する施策も大事だが、こちらの施策も検討していただけたらと思う。

議事②:令和5年度の図書館事業報告

別添資料

「令和5年度佐賀市立図書館事業計画の実施報告」

をご参照ください。

議事③:令和6年度重点事業の経過報告

「令和6年度重点事業の経過報告」の
資料は当日配布させていただきます。

令和5年度第3回佐賀市立図書館協議会 議事録

開催日時：令和6年3月21日（金）14時30分～15時45分

開催場所：佐賀市立図書館2階 多目的ホール

出席者：【委員：9名】

白根会長、宮原副会長、荒木委員、大塚委員、
梅崎委員、高原委員、井上委員、福田委員、堀川委員
（欠席：中野委員）

【事務局：8名】

古田図書館長、増本副館長兼総務企画係長、
江口サービス一係長、中島サービス二係長、
山田諸富分館長兼川副分館長、江頭東与賀分館長兼久保田分館長、
副島富士分館長兼三瀬分館長、図書館協議会担当 矢ヶ部

【傍聴者：1名】

1. 開会

（事務局）

- ①10人中9人の委員が出席し、佐賀市立図書館条例施行規則第17条で定める協議会の成立要件（委員の過半数の出席）を満たしていること
 - ②委員の改選は、佐賀市立図書館条例第9条第3項及び佐賀市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第4号に基づき、令和5年11月28日付で教育委員会において承認されていること
- 以上2点を報告した。

2. 館長挨拶

みなさんこんにちは。本日は年度末の大変お忙しいなか、佐賀市立図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は今年度最後の協議会でございます。

我々が行っております図書館の事業ですが、これは佐賀市の色々な計画のなかに位置付けられております。

大きなところでは、総合計画。またその次には、教育振興基本計画ということで、そして我々の事業に一番近いところでございますのが、佐賀市図書館サービス計画でございます。

このサービス計画でございますが、皆さん御存じかと思いますが、ちょっと紹介させていただきますと、基本理念といたしまして、市民とともに育つ図書館ということを掲げております。

そして、これを実現するために、四つの基本目標というのを設定しております。

一つ目は、個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

二つ目が、子どもの成長に役立つ図書館

三つ目は、多様な人々が集う図書館

そして、四つ目が市民とともに変革を進める図書館ということでございます。

こういったことを踏まえまして、毎年、各年度の事業計画というものを出しております。

本日は、令和6年度の事業計画について、事務局から説明をいたします。これに対して、皆様方の多くの御意見を賜り、そして皆様と共に、この図書館を育てていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

簡単でございますが、私の挨拶とさせていただきます。

3. 協議会

(1) 会長挨拶

(白根会長)

皆様、今日はお忙しいなか、御出席いただきましてありがとうございます。

館長のお話にもありましたように、図書館というのは、上からつくられるものではありません。建物とかつくるのは市の役割ですけれども、育てていくのは、市民の大切な役割だと思います。

この協議会を通して、皆さんのいろいろな図書館に対する御意見を伺って、佐賀市立図書館を育てていきたいものだと思います。

今日は、よろしく願いいたします。

(2) 議事

① 前回協議会報告

【事務局からの説明】

(事務局)

「1. 議事録」について、前回の協議会は令和5年12月19日に開催したこと。議題は「前回協議会報告」「第3次佐賀市立図書館サービス計画の概要」であったこと、内容は、議事録を参照して欲しい旨を説明した。

「2. 継続対応中の案件」については、下記の報告を行った。

・「(1) スマートフォン向け OPAC (蔵書検索システム) の文言について」

「予約の条件が分かりづらいので、ホームページなどで説明をしてほしい」という質問については、本館の在架資料の予約を Web から受け付けていないという点が条件を分かりづらくしている要因であった。先月2月から稼働した新システムにおいて、本館の在架資料予約を Web からできるようにし、予約条件自体をわかりやすく改善したことを報告した。

・「(2) スーパーアプリについて」

「アプリ上で過去に借りた本を確認できたらよい」という意見について、先月2月から稼働した新システムにおいて、利用者自身が貸出履歴の保存と閲覧の設定に同意した場合は、アプリやホームページから利用者自身で貸出履歴を確認することができるようになった

ことを報告した。

「3. 継続対応中の案件」については、対応状況に追記、進捗のあったものについて下記の報告を行った。

- ・「(1) 障がい者向けサービスについて、宅配サービスの周知強化について」
ホームページや市報に掲載、市の障がい福祉課が作成した冊子に掲載し、案内を行っていることや、今後もサービスが必要な方へ情報が届くよう周知方法については工夫しながら行っていきたいと考えていることを報告した。
- ・「(2) 外国語の利用案内について」
令和5年度はタガログ語版を作成しており、翻訳、印刷は済んでいるものの、まだ配布ができていないこと。準備ができ次第、大学等に配布を依頼する旨を報告した。
- ・「(3) 電子図書館システムの学校への広報について」
教職員及び児童生徒に対するアンケートを8月頃までに行い、活用事例があれば各学校に周知したいと考えていることを報告した。
- ・「(5) シンポジウムの開催について」
ボランティアや市民と図書館について語り合うことができる意見交換会等の開催も検討していきたいと考えていることを報告した。

「4. 大規模改修に関する意見について」については、展示スペースやボランティア、子どもの利用など、また施設設備に関するもの、ソフト面に関する要望などについて意見を頂いていること。これらについては、大規模改修において十分考慮し、検討していくことを報告した。

また、資料に記載はないが、前回ご意見をいただいた図書館北側の駐車場の白線については、新たに白線を引き直し対応したことを報告した。

【質疑・意見】

なし

②令和6年度佐賀市立図書館事業計画について

【事務局からの説明】

(事務局)

配布資料の「令和6年度佐賀市立図書館事業計画」「令和6年度佐賀市立図書館重点事業管理票」「令和6年度イベント企画書」を基に概要の説明を行った。

また、重点事業の中でも特に優先すべき「電子図書館システム試験導入事業」と「大規模

改修事業」の2つの事業について下記の説明を行った。

○「電子図書館システム試験導入事業」について

- ・この事業は、「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料の整理・公開」を目的に電子図書館システムの試験導入を行うものであり、メインターゲットを「子ども」と定めていること、佐賀市立の小中学生には専用のアカウントを全員に発行し、また学校で活用する1人1台端末のデスクトップにはショートカットを設けて、簡単に利用できるようにしていることを説明した。
- ・電子図書館を試験導入とした理由は下記の2点であることを説明した。
 - ①読書バリアフリー法の影響やコロナ交付金の活用などで、電子図書館を導入する自治体がかここ数年で急増しており、今後、利便性がより高いシステムが提供される可能性があること。
 - ②商用電子書籍は使用料が一般図書の2倍から3倍と高額で、また、利用期限や回数に制限があることから、利用者の反応をより慎重に見極める必要があること。
- ・スケジュールについて、令和4年度にシステムの調達と構築を行い、令和5年6月から令和7年5月末までの2年間の試験導入に取り組んでいることと、試験導入期間は令和7年5月末までとなっているが、試験導入期間後の方針の作成と、正式に導入する場合の維持管理経費の予算要求資料の作成は、令和6年度の上半期中に行う必要があることを説明した。

○「大規模改修事業」について

- ・図書館本館は開館から30年近くが経過して建物や設備の老朽化が進んでおり、当初はトイレの洋式化や空調関係の更新など、施設の機能回復を目的にした改修計画を立てていたが、「本を楽しめる、本をもっと好きになるという、図書館らしさを真ん中に、そして公園のように気軽に立ち寄ることができ、ゆっくり気持ちの良い時間を過ごせる居心地の良い場所にしていきたい。また、これまで図書館を利用したことがない人や本に興味を持たない人も訪れたいような魅力的な機能を充実させていこう」という目指す図書館像「佐賀ライブラリーパーク」をコンセプトに掲げて改修に取り組むことになったことを説明した。
- ・事業スケジュールは、昨今の建設業界の人手不足や不安定な資材調達の状況などにより、時期が見通せない部分があることを説明した。
- ・現在の進捗状況について、令和5年度は改修の方向性や方針などを定める基本構想・基本計画の策定に取り組んでおり、学識経験者、企業の経営層の方、図書館利用者、図書館ボランティア、一般公募の方などで構成する委員会を5回開催して意見や提案をいただいたことを説明した。
- ・基本構想・基本計画については、副市長をトップとした関係部署の職員による会議や有識

者を交えた意見交換会も数多く行い素案がまとまったこと。令和6年度は、基本構想・基本計画の素案について、パブリックコメント制度を通じた意見聴取と反映を行った上で完成させる予定であることを説明した。

・基本構想・基本計画にあたっての市民からの意見の収集については、本市が毎年行う「市民意向調査」の活用や、佐賀駅やバスセンター、佐賀駅前の商業施設において街頭アンケート調査を行ったり、理想の図書館を考える市民向けワークショップイベントなども開催したりして意見を求めたこと。加えて、佐賀新聞社が主催する「さが未来発見塾」という企画を通じて、高校生に図書館の未来像について議論してもらったほか、図書館本館とバルーンミュージアム3階の青少年センターにメッセージボードを設置して、主に小中学生から、理想の図書館についての意見を聴取したことを説明した。

・設計や工事中の仮移転先の確保、リニューアル後の運営体制など、次の段階に進むための事務にも着手していくことを説明した。

【質疑・意見】

○「電子図書館システム試験導入事業」

（委員）

中学生から小学生までの3人の子どもがいるが、一人一台端末のデスクトップから電子図書館システムが利用できるということを知らなかった。経費もかかっていると思うので、もっと周知して有効に活用できるようにしてほしいと感じた。

（事務局）

周知というのが一番重要だと考えている。行政は周知や広報というのが非常に苦手な分野だと感じており、何か有効な方法等があればぜひご提案いただければ有難い。

（委員）

学校としては利用する場面が限られてはいる。総合的な学習の時間に、電子図書館で閲覧できる川副町誌を利用した。非常に厚い本だが、章ごとに分けて掲載されているので必要な部分だけを見つけやすいと感じた。

一人一台端末の持ち帰りについて、ようやく来年度から常態化する。持ち帰りによる端末の破損等の課題はあるが、来年度の後半から持ち帰りが始まると思う。持ち帰りが始まると一人一台端末が保護者にとっても身近になる。そのタイミングで改めて周知をして頂けたらと思う。

電子図書館システムに掲載されている資料は、地域のことを知るためにとても有効な手段だと思うので、ありがたいと思っている。

（委員）

電子図書館システムの費用面について、システムや電子書籍等のあたりがネックになるか。

(事務局)

出版者から使用権を購入する電子書籍については、紙の本の2～3倍の価格が設定されている。また、利用期限や利用回数に制限があるものも多い。

そのなかでも利用できる電子書籍の数を増やしていきたいという思いはあり、企業版ふるさと納税について検討を進めていた矢先に、サガテレビの関連企業であるエンターアイという会社から、佐賀銀行のSDGs関係の私募債を通して寄附をいただいた。この寄附を基に使用権を購入した電子書籍を、「エンターアイ文庫」という名称で電子図書館に登録している。

このような形で、市の予算だけでなく色々な形で応援をいただきながら育てていきたいと考えている。

(白根会長)

550点の商用電子書籍は今のところ児童書中心ということではいいか。そのなかには絵本なども入っているか。

(事務局)

絵本も入っている。児童サービス担当で選書を行っており、低学年向け、中学年向け、高学年向け、中学生向け、高校生向けという形で選書を毎月行っている。主に小学生向けの電子書籍の中に、絵本も一部入っている。

(白根会長)

電子書籍という形でしか読書を楽しめない子ども達がいるということは説明いただいたが、紙の本が楽しめる子どもについては、特に低学年くらいの子どものについては親子で一緒に紙の本を読んで欲しいという思いがある。

このような事業を進める一方で、うちどく（家読）のような活動を広めていく取り組みも必要だと思う。子どもだけで完結するのではなく、家族で楽しむ読書のあり方というの忘れずに事業に取り組んで欲しい。

(事務局)

図書館に来ることができる人についてはどんどん図書館に来て欲しいと思うし、大規模改修のなかでもっと図書館に来てもらえるようにしていきたい。

(委員)

著作権が切れたものは青空文庫などで公開されていると思うが、そういったものを佐賀市の電子図書館と連動したりできないか。そうすれば更に多くの電子書籍が読めるようになるし、青空文庫に登録されている者は音声読み上げにも対応しているのではないか。

(事務局)

青空文庫で公開されているデータは自由に利用できるものが多い。子ども達に読まれそうな宮沢賢治や新美南吉の著作や海外の児童文学について、一部を電子書籍のデータ形式に加工して電子図書館システムに登録している。

電子図書館システムのサービスを提供している業者も、青空文庫のデータを大量に電子化しているが、これも利用に費用がかかる。また、あまりニーズがなさそうな本も多く含まれているため、独自に電子書籍を作成して登録を行った。

また、電子図書館というと小説などの商用電子書籍をイメージされるが、先ほど触れて頂いた市町村史や佐賀市の昔の地図などの郷土資料も多く登録している。そのほか、図書館主催の「調べる学習コンクール」の優秀作品を掲載するなど、子どもや一般の方の学習成果を掲載している。子ども達や市民が学習成果を発表するという点にも力を入れたいと考えており、子ども達が他の子どもの学習成果を見て自分の学習の参考にするような循環を目指したいと考えている。

(事務局)

令和6年度の重点事業に「学習成果を発表するための取組」というものがあり、その中にも電子図書館の活用について記載している。

(白根会長)

郷土資料など、直に見ることが難しいものを電子化していくことも重要なことだと思う。

(委員)

子どもが作成した調べ学習の成果については、手書きのため電子化が難しいものもあると思う。また、配慮されているとは思いますが著作権や肖像権、プライバシーの問題などに注意して欲しい。

(委員)

新しいことをやろうとすれば、色々な問題が出てくる。想定外のこともあると思うが、それを恐れていれば物事は進まない。想定外に起きてしまった問題については、ひとつずつ対処していくというやり方しかないのではないかな。必要だと考えて進める事業については、自信を持ってやって頂けたらいいと思う。

○「大規模改修事業」

(委員)

大規模改修事業について、実際にどのような形でどの程度の改修なのか見えないが、いずれにしろ方向性や事業概要は非常にいいと感じる。ライブラリーパークというコンセプトで意見をまとめて進められるということに期待している。

(委員)

図書館が新しくなって子ども達が見学に来たりすることがあるのかな、という楽しみもある。佐賀市のエコプラザは、全ての佐賀市内の小学校の5年生が見学に行くようになっている。図書館はそのようなことはする予定はないか。

本館は難しいかもしれないが、分館などは子ども達が来やすいのではないかな。見学に来た子ども達に電子書籍の借り方などを学ぶような機会はないか。

(事務局)

図書館の見学には小学校2年生で来ることが多い。小学2年の生活科の単元のなかで公共施設の利用について学ぶということで、近隣の小学校が見学に来ている。本館は神野小、新栄小、勸興小などが見学に来られることが多い。

分館については近隣の小学校が見学に来ることもあれば、司書が学校に出向いて図書館の使い方を説明することもある。

佐賀市立図書館の事例ではないが、他の自治体で美術館をリニューアルするときに、まだオープン前の展示準備中の様子を見学に来てもらうという事例があった。安全面などでの対策は必要だと思うが、面白い事例だと思う。

(委員)

今の一階の照明について、黄緑っぽい色をしている。気分が悪くくらい変な色で嫌な感じがするという知り合いがいた。私も意識していなかったのを見てみたが、確かに普通の色ではないと思ったので何か意図があるのか聞きたい。もし普通の色にできるならそうして欲しい。

(事務局)

現在の図書館の照明は、平成23年頃に省エネ改修工事で設置したものである。LEDが一般に普及する前の照明で、非常に特殊なうえ暗いという点は図書館も把握している。照明については、今より新しい規格でより良いものを採用する形になると思う。

(委員)

バスケットボール用のゴールを一基公園に設置するなどしても良いのではないかと感じた。公園で運動して疲れたら本を読みに来るなど出来るのではないかと感じた。

(事務局)

案としてはいいのではないかと感じる。今回の構想では本を好きにさせる体験に溢れた図書館というサブタイトルのようなものを持っており、本だけではなくどんどんの森の広場を使ったスポーツやアウトドア等の体験から様々な事柄に興味を持ち、そこから関連する本に繋げるというような仕組みを提供したいと考えている。まだ明確なイメージではないが、外部の団体との連携を通じて色々な体験を提供したい。

(委員)

大規模改修にあたってモデルにしているような図書館はあるか。そのようなものがあれば、委員としてもイメージしやすいし、建設的な意見も活発に出るのではないだろうか。

(事務局)

特定の図書館がモデルということはない。色々な図書館の良いところを取り入れていきたい。職員は公務や私用で40か所程度の図書館の視察を行っている。設計の段階から具体的なイメージがわくような作業に入ってくると思う。

(白根会長)

パブリックコメントでも沢山意見を挙げていただければ良いと感じた。

(事務局)

パブリックコメントについては4月15日の市報に掲載し、4月20日から5月末まで基本構想・基本計画案について意見をいただく予定である。多くの方にご意見をいただければと考えているので、どうぞよろしくお願い致します。

(委員)

パブリックコメントをやると色々な意見が出てくると思うが、取捨選択しながら自信を持ってやっていただけたらと思う。

④その他

【質疑・意見】

(委員)

資料のリクエストについて採用の割合や基準について、何人からリクエストがあったら購入するか等を公表すべきではないか。

(事務局)

リクエストについては、市民の方が何名行ったら購入するというような基準ではない。基本的にはできるだけ利用者の要望に沿うようにしているが、他の方の利用が見込めないような資料であれば他の図書館から相互貸借で借受する場合もある。また、リクエストをいただいた際に既に購入予定の資料であったりする場合もあるので、リクエストの採用割合というのは正確な把握が難しい。

図書館としてはできるだけ利用者の要望に応えることができるように、リクエストされた資料が購入できない場合でも近隣や遠方の図書館との相互貸借で対応するようにしている。ただ、先方の図書館の方針で購入して間もない資料は相互貸借で貸出しないという場合もあり、そのような場合は一定期間後に改めて相互貸借の申込をお願いする場合がある。また、専門的な資料については県立図書館と相談してそちらで対応いただくこともある。

(委員)

重点事業の項目のなかに、色々な方に来て頂きたいという思いからだとは思いますが、図書館に来る機会がない保護者、高齢者、外国の方や障がいのある方など、色々な方に来て頂くための施策が並んでいる。

一方で人や資源は限られていると思う。上から書かれた順番に重点的にやっていくイメージなのか、並列でやっていくイメージなのかを教えて欲しい。

(事務局)

順番ではなく並列で行うイメージである。

(委員)

毎回沢山の資料をいただいてありがたいと思って読ませて頂いている。イベント企画書を読むと沢山のイベントをされていることがわかる。特に長期の休みのときは図書館というの

は子どもや親たちにとって居場所なのではないかと思う。

くじ引きのようなイベントをしている館があるようだが、企画書のなかに好評だった景品やそうでなかった景品などを記載していると次年度に繋がるのではないかと感じた。

(委員)

館内・館外清掃が行き届いていて気持ちがいい。トイレもそうだが、きちんとメンテされているなど感じる。花壇も綺麗である。清掃の方やボランティアの方にも感謝したい。

(委員)

重点事業の中で「高齢者が生きがいを持って生活するための取組」という項目がある。これからの世の中高齢化が進むし、高齢者にとって図書館はサードプレイスというよりセカンドプレイスという意味合いが強いとも感じている。子どもに対する施策も大事だが、こちらの施策も検討していただけたらと思う。

また、触れにくいところではあるが、業務の効率化について触れると、増やすのは簡単だが減らすのは難しいものである。一方で限られた人員のなかでは、優先順位をつけて見直しをすることも大切だと思う。

(委員)

イベント企画書に、大和館で大人向け映画上映会を開催されるとの記載がある。数年前まで本館でも映画の上映会を行っていたが、今後復活する予定はないか。

(事務局)

図書館で所蔵している DVD などを使って上映会を行っていたが、図書館での上映が許諾されているものだけが上映できる。そのような DVD は高額なこともあり所蔵が少なくなってきた。

また、上映会を行っていた部屋は窓がなく換気ができないこともあり、現在は上映会を行っていない。上映が可能な資料が増えたり環境が整ったりすれば可能かとは思いますが、事業の優先順位もあるので現状では復活するか未定である。

(委員)

囲碁将棋コーナーについてコロナでコーナーが閉鎖したが、今後復活する予定はないか。

(事務局)

コロナで閉鎖したという経緯はあるが、学生や一般の方の学習での利用が増えており学習室だけでは手狭になったため、現在は以前の囲碁将棋コーナーを学習コーナーとして利用しており、今後も学習コーナーとして活用する予定である。

フリースペースで2人で静かに囲碁や将棋をされるということは問題ないかと思うが、囲碁や将棋が目的で多くの人数が集まってしまうと、騒がしくなったり特定の目的だけで図書館のスペースが占有されたりするという問題が出てきて、他の来館者からの苦情が寄せられる。

囲碁将棋を楽しみにしていらっしゃる方もいるとは思いますが、図書館の設置目的や利用のあり方などを考えて判断させていただきたいと考えている。

(白根会長)

他に意見や質問がなければ協議会を終了したい。

(事務局)

次回の図書館協議会は、令和6年8月に予定していること、詳細は改めて連絡することを説明して協議会を終了した。

令和5年度

佐賀市立図書館事業計画の実施報告

【第3次佐賀市立図書館サービス計画の成果指標】

- ・佐賀市立図書館のサービス（分館等含む）が充実していると思う市民の割合

令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和7年度目標値
65.6%	62.6%	68.0%

- ・佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合

令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和7年度目標値
81.4%	87.4%	85.0%

【令和5年度の重点事業】

- ◎電子図書館システム試験導入事業（運用・効果検証） 【総務企画係】
- ◎大規模改修事業について基本構想・基本計画を策定 【総務企画係】
- ◎図書館情報ネットワークシステム更新事業 【総務企画係】
- ビジネス支援・郷土資料分野について、サービスのあり方検討 【サービス二係】
- 学校図書館との情報交換や支援のあり方検討 【サービス二係】
- 外国語での図書館サービス案内作成と館内表示の多言語化 【総務企画係】
- 障がい等により読書が困難な人々に対するサービスのあり方再検討 【サービス一係】
- 業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討 【総務企画係】
- 講演会等へ参加し、職員の資質向上や将来のサービスのあり方を検討 【総務企画係】

【令和5年度の事業実施にかかる留意点】

- ・電子図書館システムの試験導入、大規模改修基本構想・基本計画策定、図書館情報ネットワークシステム更新業務については影響範囲とボリュームが大きな事業となるため、各係や担当で役割分担と情報共有を行いながら特に力を入れて事業を実施していく。
- ・大規模改修基本構想・基本計画策定にあたり、これからの図書館のあり方を（施設のみではなく、業務やサービス全般についても）考える必要があり、職員による専門部会において検討していく。その中で今年度の重点事業としてあげている事項（○印）についても検討を行う。
- ・図書館の改修計画については令和4年度から随時事業は進めていくが、約9カ月間の臨時休館を伴う大規模改修工事については、令和7年度から8年度に集中的に行う予定としている。

基本目標	1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館									
目標概要	市内全域への基本的な図書館サービスの提供によって、個人や地域における読書活動や生涯学習、課題解決に貢献します。また、市民の知的好奇心を刺激することで、市民の生きがいがいづくりや図書館利用に繋がっていきます。									
施策の方向性	方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。 方向性②：くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	市民の図書館利用登録率	目標	-	-	38.3%	39.2%	39.9%	41.0%	42.1%	市内在住者の個人登録数÷住基人口
		実績	37.4%	37.2%	37.6%	38.0%	38.3%			
	貸出サービスを利用した市民の数	目標	-	-	26,601人	26,951人	25,573人	26,787人	28,000人	図書館業務統計
		実績	26,251人	22,140人	23,146人	22,839人	22,432人			
	市民一人あたりの貸出点数	目標	-	-	6.97点	6.98点	6.97点	6.99点	7.00点	総貸出点数÷住基人口
実績		6.97点	6.41点	6.92点	6.57点	6.22点				
その他指標	仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身につけるための取組をしている市民の割合	目標	-	-	-	-	-	-	-	市民意向調査
		実績	27.9%	30.0%	27.6%	26.6%	29.4%			

基本目標		2. 子どもの成長に役立つ図書館									
目標概要	子どもが生涯にわたって読書に親しみ、様々な資料や情報を利用して自ら学ぶ力を養うための取組を行います。また、小中学校や幼稚園・保育園・認定こども園や、読み語りボランティア活動を行う団体など、子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。										
施策の方向性	方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。 方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。										
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法	
	佐賀市立図書館のサービス(分館等含む)が充実していると思う市立小中学校の保護者の割合	目標	-	-	76.4%	77.2%	79.0%	79.5%	80.0%	・教育政策市民満足度調査	
		実績	75.6%	72.8%	78.0%	83.1%	77.7%				
	佐賀市立図書館の児童コーナー利用者の満足度	目標	-	-	95.6%	95.7%	97.4%	97.7%	98.0%	・図書館利用者アンケート(全館) ※「未回答・わからない・利用しない」を母数から除く。	
		実績	95.5%	97.3%	95.3%	94.8%	93.5%				
	0歳～18歳の市民の利用登録率	目標	-	-	39.1%	39.6%	40.2%	42.6%	45.0%	・市内在住者の個人登録数÷住基人口	
		実績	37.6%	36.0%	35.3%	34.3%	33.7%				
	0歳～18歳の市民一人あたりの貸出点数	目標	-	-	7.93点	7.95点	8.38点	8.39点	8.40点	・0～18歳の市内在住者への総貸出点数÷住基人口	
		実績	7.92点	7.12点	8.35点	7.83点	7.41点				
	その他指標	子どもに本を読んであげている家庭の割合	目標	-	-	-	-	90.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(健康づくり課指標)
			実績	90.9%	92.6%	93.6%	93.2%				
		学校の授業時間以外に読書をする小学生の割合	目標	-	-	-	-	90.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育課指標)
実績			84.0%	77.6%	80.4%	74.3%					
学校の授業時間以外に読書をする中学生の割合		目標	-	-	-	-	75.0%	-	-	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載(学校教育課指標)	
		実績	68.50%	60.60%	69.5%	67.9%					

基本目標	3. 多様な人々が集う図書館									
目標概要	市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。また、多様な考え方や生き方に応える資料を提供するとともに、日本語を母国語としない人や、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人でも気軽に利用できる図書館づくりを行います。									
施策の方向性	方向性①：市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。 方向性②：日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	佐賀市立図書館の居心地への満足度	目標	-	-	94.4%	94.5%	95.8%	95.9%	96.0%	・図書館利用者アンケート(本館分) ※「未回答・わからない・利用しない」を母数から除く。
実績		94.3%	94.2%	95.7%	91.0%	95.5%				

基本目標	4. 市民と共に変革を進める図書館									
目標概要	市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。また、限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。									
施策の方向性	方向性①：限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。 方向性②：市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。									
成果指標	指標		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	調査方法
	各年度の事業計画の目標達成率	目標	-	-	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	各年度の事業計画で設定した目標値の達成率
		実績	-	-	44.2%	43.7%	47.0%			
	図書館ボランティアの満足度	目標	-	-	74.1%	75.6%	75.7%	77.8%	80.0%	図書館ボランティアへのアンケート調査
実績		-	72.7%	87.5%	73.5%	86.6%				

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	電子図書館システム試験導入事業 (R5年度:運用・効果検証)					
-----	--------------------------------	--	--	--	--	--

事業年度	令和4年度～令和7年度	令和5年度事業費	2,046千円	担当係・担当者	総務企画係	矢ヶ部
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 ②子どもの成長に役立つ図書館 ③多様な人々が集う図書館	①-②:くらし・しごと・趣味・地域の課題解決に貢献します。 ②-①:子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。 ③-②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。				

事業概要 (目的・内容)	<p>・「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの試験導入を行う。 特に子ども(小学生～高校生)向けの資料を中心に提供を行う。</p> <p>【スケジュール】 システムの調達及び構築:令和4年度 試験運用期間:令和5年6月～令和7年5月</p> <p>【事業費】 5,299,780円 (R4～7年度総額)</p> <p>◎内訳 構築費用(R4) 770,000円 サービス利用料 (R5～R7) 1,320,000円 (月額 税込55,000円) 商用電子書籍使用料 (R4～R7) 2,275,000円 商用電子書籍使用料(R5 読み放題/パック追加分) 934,780円</p>
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>・学校や家庭での子どもの自由な読書や学習に活用できるよう、特別支援学校や遠隔地の小中学校を中心に利用促進の取組を行う必要がある。</p> <p>・システムの効果検証を行う仕組みを検討する必要がある。</p> <p>・商用電子書籍は紙の書籍に比べて2～3倍高額、かつ利用期限があるものが多いため、試験運用期間後も継続することになった場合、限られた予算の中で継続的に運用するためには、どのような方針で予算を確保して資料を収集するか、検討していく必要がある。</p>
-----------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
サービス利用契約締結	年間計画	*												完了	サービス提供者者と調整し、図書館の利用登録者全てが利用可能となった。また、図書館の利用登録がない佐賀市立の小中学校の児童生徒・教職員にもアカウントが発行可能となった。
	実績	*													
利用者初期登録作業	年間計画	*	*											完了	図書館の利用登録者のほか、佐賀市立小中学校の児童生徒及び教職員に専用アカウントを付与した。
	実績	*	*												
サイト構築・調整作業	年間計画	*	*											完了	サービス開始に向け、サイトの構築や調整作業を行った。
	実績	*	*												
市民向けサービス提供	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
商用電子書籍発注 独自資料(郷土関連資料等)登録	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
利用促進の取組 (市民向け広報・学校個別訪問等)	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	・6/26 佐賀市教育情報化推進リーダー研修会 ・7/25 市長記者会見 ・8/2 神野小学校の教職員への説明
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
利用統計データの取得	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
	サービスイン	—	—	6/2サービスイン	6/2サービスイン	—
商用電子書籍の蔵書回転率	—	—	6.46(6,458/552)	2.51(R3年度の児童書(紙)の回転率と同等)	統計データの取得	
郷土関連資料の蔵書回転率	—	—	3.53(3,753/1,062)	1.00(R3年度の地域書籍の回転率:0.11)	統計データの取得	

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	(本館大規模改修事業) 本館改修工事					
事業年度	令和4年度～令和8年度	令和5年度事業費	15,469千円	担当係・担当者	総務企画係	若松
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館 方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。					

事業概要 (目的・内容)	<p>・本館は開館から27年が経過し、建築・設備が老朽化しているため改修・更新を行う必要がある。 また、佐賀市立図書館の新しいコンセプト「SAGA LIBRARY PARK」の実現のため、単に本を読む、借りるだけでなく、誰にとっても開放的で居心地の良い空間を提供し、人が集う場所としての図書館を創出する。</p> <p>【スケジュール】 R5年度 基本構想・基本計画の策定 R6年度 実施設計 R7～8年度 実施設計・整備工事</p>
-----------------	---

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	R6年度当初予算要求までに基本構想・基本計画を策定完了する必要があるため、R5年6月までには業者選定・契約締結を行いたい。
-----------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
プロポーザル公募	年間計画	*	*											予定どおり	公募開始:令和5年4月18日(金) 企画提案書類提出〆切:令和5年5月23日(火) 応募者:4者
	実績	*	*												
業者選定・契約	年間計画		*	*										予定どおり	最優秀提案者・契約先: 株式会社青木茂建築工房
	実績		*	*											
基本構想・基本計画策定業務	年間計画			*	*	*	*	*	*	*				遅延し完了	基本構想・基本計画策定委員会で、もっと時間をかける必要性があったため、期間を延長して令和6年3月に素案作成を完了した。
	実績			-	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
		大規模改修事業全体の進捗状況	—	6.5%	25%	25%

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	図書館情報ネットワークシステム更新事業 (R5:システム更新)					
-----	---------------------------------	--	--	--	--	--

事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	125,912千円	担当係・担当者	総務企画係	矢ヶ部
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。			

事業概要 (目的・内容)	<p>・令和5年1月に現行システムのリース期間が満了したが、市の厳しい財政状況を考慮し、システムの再リースにより更新を1年間延伸していた。 令和6年2月から新システムを稼働させるため、令和6年1月下旬にシステムや機器の入替を行う。</p> <p>【現行システムとの主な変更点】</p> <p>◎Webサービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「佐賀市スーパーアプリ」との連携 ・デジタル利用カードの利便性向上 ・オンラインでの利用登録申請 ・ホームページやWebOPAC(検索・予約等のサービスを提供する利用者用のシステム)の利便性向上 等 <p>◎その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館自動貸出機の増設と配置場所の見直し ・自動車図書館での貸出等処理のオンライン化 ・セキュリティ強化のためのネットワーク構成の見直し ・佐賀市データ連携基盤への統計データ提供 等 <p>※予定していたデータセンターの活用については、予算査定の中で見送りとなった。(現行どおり本館にサーバ設置)</p>
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>・非常に大規模なシステムの更新となる。既存機能・新規機能を含めてデータ移行や検証作業についても計画的に実施する必要がある。</p> <p>・令和6年1月下旬に、サーバの入替やNW配線などのために1週間程度休館を要する。</p>
-----------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
プロポーザル公募	年間計画	*	*												完了	公募開始:令和5年4月21日(金) 企画提案書類提出〆切:令和5年5月24日(水) 応募者:1者
	実績	*	*													
業者選定・契約	年間計画	*	*	*	*										完了	最優秀提案者:富士通Japan株式会社
	実績	*	*	*	*											
基本設計・詳細設計	年間計画					*	*								完了	予定どおりの進捗で完了
	実績					*	*									
基盤/NW構築システム開発	年間計画						*	*	*	*					完了	進捗に遅れはあったが2/1の稼働には間に合った。
	実績						*	*	*	*						
データ移行作業	年間計画						*	*	*	*					完了	進捗に遅れはあったが2/1の稼働には間に合った。
	実績						*	*	*	*						
システムテスト/運用テスト	年間計画					*	*		*	*					完了	進捗に遅れはあったが2/1の稼働には間に合った。
	実績					*	*		*	*						
システム切替	年間計画										*				完了	予定どおり2/1から新システムが稼働した。
	実績										*					

成果	成果指標もしくは成果品	R2年度実績	R3年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
		新システムへの切替	—	—	令和6年2月1日に新システム稼働	令和6年2月1日の新システム稼働

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	ビジネス支援・郷土資料分野についてサービスのあり方検討					
-----	-----------------------------	--	--	--	--	--

事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	宮地・天野
------	------------	----------	-----	---------	--------	-------

関連する基本目標/方向性 ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 方向性②:くらし・しごと・趣味・地域の課題解決に貢献します。

事業概要 (目的・内容)	<p>・地域文化や伝統文化に関する情報を収集、保存することで地域の魅力を掘り起こし、地域の活性化につなげることや、就労支援、ビジネス支援に関する情報提供、地場産業の情報紹介などにより、豊かな地域・まちづくりを支援することも、市立図書館の大事な役割と考える。</p> <p>これまでも、歴史・文化に関する展示や地域資料・求人情報の提供、佐賀の歴史に関する講座の開催など行っているが、資料や人員も限られることから、佐賀県立図書館や近隣の大学図書館、専門機関などとの連携を念頭に置き、より効果的で効率的なサービスのあり方を検討する。</p>
-----------------	---

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など

- ・大規模改修のための基本構想や基本計画を策定するにあたり、これからの図書館のあり方を考える必要がある。
- ・そのためには、施設のみではなく、業務やサービス全般の見直しが必要であり、職員による専門部会において検討することとしている。
- ・まずはその中で検討し、検討したものに基づき、担当で具現化していく。

内容		上半期					下半期					進捗	詳細				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3		
事業内容	大規模改修における専門部会(資料・情報提供部会)において検討	年間計画	*	*	*											遅れている	支援に関する資料や地域資料の効率的・効果的な収集・配架ができるように検討する。
		実績	*	*	*	*											
	専門部会での意見を基に具体的に検討	年間計画				*	*	*	*	*						遅れている	専門部会での意見を基に、その実行可能性を検討しながら、意見の集約を図る。
		実績				*											
	検討した内容についてまとめ、方針を決定	年間計画										*	*	*			集約した意見を基に、次年度以降の図書資料の収集の方針を決定する。
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
		年間計画															
		実績															
	年間計画																
	実績																

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
		方針決定	-	-	方針決定	方針決定

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	学校図書館との情報交換や支援のあり方検討					
-----	----------------------	--	--	--	--	--

事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口・陣内・寺下
------	------------	----------	-----	---------	--------	----------

関連する基本目標/方向性 ②子どもの成長に役立つ図書館 方向性①: 子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。

事業概要 (目的・内容)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとって一番身近な図書館である学校図書館への支援は、市立図書館の重要な役割であるとする。 これまで、学校図書館とのネットワーク化や団体貸出などを通じて支援を行ってきたが、積極的に情報共有を行い、団体貸出にとどまらない支援のあり方を検討する。
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など

- 大規模改修のための基本構想や基本計画を策定するにあたり、これからの図書館のあり方を考える必要がある。
- そのためには、施設のみではなく、業務やサービス全般の見直しが必要であり、職員による専門部会において検討することとしている。
- まずはその中で検討し、検討したものにに基づき、担当で具現化していく。

内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
大規模改修における専門部会(児童・学校サービス部会)において検討	年間計画	*	*	*											遅れている	各担当で問題点について意見を取りまとめ、学校図書館へのよりよい支援の在り方を検討する。
	実績	*	*	*												
専門部会での意見を基に具体的に検討	年間計画				*	*	*	*	*						遅れている	
	実績				*											
学校図書館との意見交換	年間計画				*	*	*								遅れている	
	実績				*											
検討した内容についてまとめ、方針を決定	年間計画										*	*	*		遅れている	
	実績															
	年間計画															
	実績															
	年間計画															
	実績															
	年間計画															
	実績															

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
	方針決定	-	-	方針未定	方針決定	

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		外国語での図書館サービス案内作成と館内表示の多言語化														
事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	54千円			担当係・担当者	総務企画係	豊福								
関連する基本目標/方向性		③多様な人々が集う図書館			方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。											
事業概要 (目的・内容)		<ul style="list-style-type: none"> 市内在住の日本語を母国語としない人達が図書館を快適に利用できるよう、英語以外の外国語による利用案内の設置や館内の主な表示の多言語化が必要となっている。 令和5年度は、タガログ語の利用案内を作成するとともに、館内掲示について、「やさしい日本語」も含めた多言語による掲示物の一部作成を実施する。 														
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など		<ul style="list-style-type: none"> 館内の掲示物は、優先順位に従って各年度に翻訳依頼等を行っていくため、掲示物に表記する言語がその都度増えていく。 当面の間は仮設的な掲示物を作成し、必要とされる言語の翻訳が一通り終了した時点で、最終的な掲示物を作成して掲示することとなる。 英語圏外の方が多く、「やさしい日本語」の表記の方が伝わりやすいことから、掲示物等に表記する言語については考慮が必要である。 														
事業内容	館内掲示物の調査、更新計画の作成	年間計画	*	*	*										遅れている	令和4年度に調査・整理した館内掲示物について、対応が可能なものを選定し、更新計画を策定した。
		実績		*	*											
	利用案内、掲示物の原稿作成	年間計画				*	*									利用案内等の内容について原稿を作成した。
		実績				*										
	翻訳依頼	年間計画						*	*							タガログ語については専門の業者へ委託を行った。
		実績						*								
	利用案内・掲示物の作成	年間計画							*	*						タガログ語の利用案内については、ホームページの更新作業を優先して行ったため、作業が遅れることとなった。
		実績							*	*	*					
	利用案内配布、掲示物の掲示	年間計画									*					掲示物は予定どおり掲示を完了したが、タガログ語の利用案内は作成が遅れたため、設置等については遅れることとなった。
		実績								*	*	*				
		年間計画														
		実績														
		年間計画														
		実績														
	年間計画															
	実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R3年度実績			R4年度実績			R5年度実績			R5年度目標値		調査方法		
	外国語利用案内		利用案内2か国語(英語・中国語)			ベトナム語利用案内作成			タガログ語利用案内作成			タガログ語利用案内作成		-		
	外国語掲示物		-			英語・中国語を含む掲示物作成			多国語や「やさしい日本語」の掲示物作成			多国語や「やさしい日本語」の掲示物作成				

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		障がい等により読書が困難な方に対するサービスのあり方再検討															
事業年度	令和5年度～令和6年度	令和5年度事業費	0千円			担当係・担当者	サービス係	坂本・瀧									
関連する基本目標/方向性		③多様な人々が集う図書館			方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。												
事業概要 (目的・内容)	・読書バリアフリー法の施行を受け、視覚障がいだけでなく発達障がい、肢体不自由、その他の障がいにより、読書が困難な人々に対するサービスを充実させていくことが必要である。 視覚障がい者等がより円滑に利用することができるよう、サービス内容の再検討を行う。																
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・大規模改修のための基本構想や基本計画を策定するにあたり、これからの図書館のあり方を考える必要がある。そのためには、施設のみではなく、業務やサービス全般の見直しが必要であり、職員による専門部会において検討をおこなう。 ・また、県内の公共図書館とも連携をとりながら、限られた資源でどのようなサービスができるかを検討していく。																
事業内容	内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
	大規模改修における専門部会(Si部会)でサービスについて検討	年間計画	*	*	*											遅れている	県からの助言や県内公共図書館との連携を図りながら、より効果的なサービスができるよう専門部会で検討する。
		実績				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
	大規模改修における専門部会(資料・情報提供部会)で関係資料の収集方針について検討	年間計画	*	*	*											遅れている	講演や研修会等での資料も参考にしながら収集方針について専門部会で検討する
		実績				*											
	部会で検討した内容についてまとめ、方針を決定する	年間計画				*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	
		実績															
成果	成果指標もしくは成果品		R3年度実績			R4年度実績			R5年度実績			R5年度目標値		調査方法			
	方針決定								-			方針決定					

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討
-----	----------------------------------

事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	0千円	担当係・担当者	総務企画係	北島・富吉
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。			

事業概要 (目的・内容)	<ul style="list-style-type: none"> 限られた人員や予算の中で図書館サービスを効率的・効果的に提供するため、司書業務の効率化を図る。 また、外部団体等との協力・連携、外部資金の活用のための取組を行う。
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修における専門部会での検討事項について図書館担当職員とともに具体化の検討を行う。 外部資金の活用について情報を収集し、活用について検討を行う。 外部団体の活用や他部署との協力・連携等について検討を行う。
-----------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
大規模改修における専門部会において検討	年間計画	*	*	*											遅延完了	事業目的の実現のために必要な事項について検討。大規模改修基本構想・基本計画を策定する中で、協議を重ねた。
	実績				*	*	*	*	*	*						
専門部会での意見をもとに具体的に業務内容やサービスの見直し	年間計画				*	*	*	*	*	*					ほぼ予定どおり	専門部会での意見をもとに研修会実施の可能性について検討。大規模改修後を見据え、ICタグ関連の研修を2回実施し、職員体制等のシミュレーション等を研究した。
	実績				*	*	*	*	*	*						
雑誌スポンサー制度を含めた外部資金活用の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	他の市町等の取り組みについて調査・情報収集を行う。
	実績			*	*											
外部団体等との協働の可能性について検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	遅れている	
	実績															
自動貸出機の増設	年間計画										*	*	*		予定どおり	
	実績										*	*	*			
	年間計画															
	実績															
	年間計画															
	実績															

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
		雑誌スポンサー制度の運用	雑誌6誌	雑誌4誌	なし	雑誌7誌

令和5年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討					
-----	-------------------------------	--	--	--	--	--

事業年度	令和5年度(単年度)	令和5年度事業費	10千円	担当係・担当者	総務企画係	北島・鷺崎
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性：①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。			

事業概要 (目的・内容)	<p>・各種研修会の実施により図書館職員として市民対応能力を強化する。 また、より質の高い図書館サービスを提供できるように、先進図書館の事例研究や有識者による講演会・外部研修等を積極的に活用し、研究・研修成果の共有を図ることで、図書館司書として専門知識や技術の向上を目指すとともに、将来の図書館サービスのあり方を検討する。</p>
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>・講演会や研修への参加は業務の都合により参加できる者が制限されるため、館内研修等の機会を使って職員間で知識や技術の共有を図る。 ・大規模改修における専門部会での検討事項について図書館担当職員とともに具体化の検討を行う。</p>
-----------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
職員の講演会や外部研修への参加	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*			ほぼ予定どおり	
	実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
館内全体研修の実施	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*			ほぼ予定どおり	
	実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
大規模改修事業にかかる専門部会において検討	年間計画	*	*	*										遅延完了	事業目的の実現のために必要な事項について検討。大規模改修基本構想・基本計画を策定する中で、協議を重ねた。
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*				
専門部会での意見をもとに具体的に検討	年間計画			*	*	*	*	*	*	*	*			ほぼ予定どおり	専門部会での意見をもとに研修会実施の可能性について検討。大規模改修後を見据え、ICタグ関連の研修を2回実施し、職員体制等のシミュレーション等を研究した。
	実績			*	*	*	*	*	*	*	*				
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R5年度目標値	調査方法
	佐賀県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会主催の研修への参加人数	のべ26名	のべ14名	のべ17名	のべ20名以上	
	全国図書館大会及び全国公共図書館研究会への参加人数	7名	2名	0名	各1名	
	館内全体研修の実施回数	8回	8回	8回	10回	

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	①市内全域で図書館の資料が利用できるようにします
サービス計画に記載した具体例	○分館・分室の運営と自動車図書館の運行 ○資料の貸出/返却/予約サービスの提供 ○団体貸出サービスの提供 ○WebOPAC/館内OPACの提供
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で貸出サービスの利用者と貸出点数が大きく減少した。 ・R3年度は回復傾向にあったもののR4年度は減少した。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	大和館の運営 及び貸出サービスの提供	主に大和町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 大和町の利用登録率 (38.19%/R4年度末) ② 大和町の人口当たり貸出点数 (5.92点/R4年度) ③ 大和館の貸出点数 (146,317点/R4年度) ④ 大和館の利用満足度 (86.7%/R5年5月調査)	①40.28% ②6.40点 ③162,986点 ④76.8%	①38.4% ②5.73点 ③152,471点 ④87.3%	大和館
			-				宮崎
	諸富館の運営 及び貸出サービスの提供	主に諸富町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 諸富町の利用登録率 (32.12%/R4年度末) ② 諸富町の人口当たり貸出点数 (4.33点/R4年度) ③ 諸富館の貸出点数 (56,235点/R4年度) ④ 諸富館の利用満足度 (89.5%/R5年5月調査)	①32.97% ②4.56点 ③59,681点 ④81.8%	①32.6% ②3.86点 ③51,591点 ④81.6%	諸富館
			-				山田
	東与賀館の運営 及び貸出サービスの提供	主に東与賀町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 東与賀町の利用登録率 (41.33%/R4年度末) ② 東与賀町の人口当たり貸出点数 (4.43点/R4年度) ③ 東与賀館の貸出点数 (47,079点/R4年度) ④ 東与賀館の利用満足度 (78.6%/R5年5月調査)	①42.84% ②5.03点 ③49,995点 ④84.4%	①41.8% ②4.17点 ③45,258点 ④91.7%	東与賀館
			-				江頭
	富士館の運営 及び貸出サービスの提供	主に富士町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 富士町の利用登録率 (36.48%/R4年度末) ② 富士町の人口当たり貸出点数 (4.92点/R4年度) ③ 富士館の貸出点数 (20,342点/R4年度) ④ 富士館の利用満足度 (93.8%/R5年5月調査)	①36.56% ②5.70点 ③22,612点 ④77.9%	①36.9% ②4.71点 ③16,579点 ④91.4%	富士館
			-				副島
	三瀬館の運営 及び貸出サービスの提供	主に三瀬村の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 三瀬村の利用登録率 (34.03%/R4年度末) ② 三瀬村の人口当たり貸出点数 (5.46点/R4年度) ③ 三瀬館の貸出点数 (6,690点/R4年度) ④ 三瀬館の利用満足度 (76.9%/R5年5月調査)	①34.94% ②5.99点 ③7,196点 ④51.8%	①34.8% ②4.63点 ③5,431点 ④92.0%	三瀬館
			-				副島
	川副館の運営 及び貸出サービスの提供	主に川副町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 川副町の利用登録率 (26.81%/R4年度末) ② 川副町の人口当たり貸出点数 (3.27点/R4年度) ③ 川副館の貸出点数 (21,065点/R4年度) ④ 川副館の利用満足度 (90.3%/R5年5月調査)	①27.92% ②3.52点 ③23,810点 ④90.3%	①27.1% ②3.06点 ③17,510点 ④89.7%	川副館
			-				山田
	久保田館の運営 及び貸出サービスの提供	主に久保田町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 久保田町の利用登録率 (31.31%/R4年度末) ② 久保田町の人口当たり貸出点数 (4.21点/R4年度) ③ 久保田館の貸出点数 (22,136点/R4年度) ④ 久保田館の利用満足度 (81.8%/R5年5月調査)	①31.72% ②5.89点 ③24,004点 ④68.5%	①31.9% ②4.07点 ③21,325点 ④87.5%	久保田館
			-				江頭

事業内容	開成分室での貸出サービスの提供	主に開成校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・開成分室の貸出点数 (23,451点/R4年度)	28,369点	23,256点	サービス係 江里口
	金立分室での貸出サービスの提供	主に金立校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・金立分室の貸出点数 (26,639点/R4年度)	32,469点	23,565点	サービス係 江里口
	鍋島分室での貸出サービスの提供	主に鍋島校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・鍋島分室の貸出点数 (46,400点/R4年度)	47,012点	42,177点	サービス係 江里口
	高木瀬分室での貸出サービスの提供	主に高木瀬校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・高木瀬分室の貸出点数 (43,715点/R4年度)	46,859点	37,760点	サービス係 江里口
	本庄分室での貸出サービスの提供	主に本庄校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・本庄分室の貸出点数 (42,722点/R4年度)	44,802点	40,368点	サービス係 江里口
	巨勢分室での貸出サービスの提供	主に巨勢校区の住民を対象に、貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	・巨勢分室の貸出点数 (30,813点/R4年度)	30,945点	27,987点	サービス係 江里口
	自動車図書館による貸出サービスの提供	自動車図書館の運行により、本館・分館・分室でカバーできない地域でも資料を利用できるようにする。	通年サービス -	① サービスポイント数 (14箇所/R4年度) ② サービスポイント巡回回数 (216回/R4年度) ※同日に複数箇所を巡回する場合、それぞれ1回としてカウント ※イベントによる巡回も含む ③ 自動車図書館貸出点数 (4,106点/R4年度)	①14箇所 ②216回 ③6,000点	①14箇所 ②206回 ③3,355点	総務企画係 豊福
	各館間の資料の配送	資料の効率的な共有と、より多くの資料を利用者に提供するために、本館・分館・分室間での資料の搬送を行う。	その他事業 -	指標の設定なし	-	-	サービス係 江里口
	本館での貸出サービスの提供	旧佐賀市内を中心に、住民及び市内に通勤・通学者への貸出サービスの提供を行う。	通年サービス -	① 旧佐賀市内の利用登録率 (39.54%/R4年度末) ② 旧佐賀市内の人口当たり貸出点数 (6.67点/R4年度) ③ 本館の貸出点数 (950,201点/R4年度) ④ 本館の利用満足度 (90.1%/R5年5月調査)	①41.40% ②7.04点 ③998,843点 ④81.6%	①39.9% ②6.34点 ③892,935点 ④90.1%	サービス係 江里口
	資料の予約(順番待ち・取り寄せ)サービスの提供	利用館の書架にない本を利用できるよう、貸出中の資料の順番待ちと、他館の資料を取り寄せるサービスを行う。	通年サービス -	① 年間予約受付件数 (181,767件/R4年度) ② Web及び館内OPACからの予約割合 (79.1%/R4年度)	①183,000件 ②80%	①184,543点 ②81.2%	サービス係 江里口
	団体貸出(一般団体向け)サービス	読書活動を行うグループや公民館・保育園、市立図書館から遠い場所で活動する団体等を対象に貸出を行う。	通年サービス -	① 年間利用一般団体数 (68団体/R4年度) ② 一般団体への年間貸出点数 (4,907点/R4年度)	①50団体 ②6,000点	①51点 ②4,585点	総務企画係・各分館 豊福
	OPACの提供	いつでもどこでも市立図書館の資料を探ることができるように、オンライン蔵書目録(OPAC)を提供する。	通年サービス -	① WebOPACの障害発生件数 (7件/R4.4~R5.1末時点) ② 館内OPACの障害発生件数 (0件/R5.4~R6.1末時点) ※端末単独の障害除く	①1件 ②2件	①8件 ②0件	サービス係・総務企画係 矢ヶ部

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	②くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○レファレンス(調べもの相談)サービス ○リクエスト/相互貸借サービス ○図書館資料の整備 ○商用データベースやデジタル化資料などの提供 ○図書館資料の複写サービス ○インターネット接続サービス ○他の図書館等と連携した課題解決支援
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討する必要がある。 ・ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関との連携を念頭に置いて、今後のサービスのあり方を整理する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	本館レファレンスカウンターの運営	本館レファレンスカウンターの運営を行う	通年サービス	① 本館調べもの相談件数 (19,287件/R4実績) ※本館及び団体・自動車 ② 調べものコーナーの利用者満足度 (87.5%/R4.5月調査)	①21,530件 ②87.5%	①19,024件 ②89.7%	サービス二係
			-				宮地
	調べもの相談(大和館)	大和館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 大和館調べもの相談件数 (2,815件/R4実績) ② 大和館の調べもの相談への利用者満足度 (98.7%/R4.5月調査)	①3,393件 ②98.7%	①3,267件 ②96.4%	大和館
			-				宮崎
	調べもの相談(諸富館)	諸富館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 諸富館調べもの相談件数 (899件/R4実績) ② 諸富館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R4.5月調査)	①560件 ②100%	①539件 ②94.6%	諸富館
			-				山田
	調べもの相談(東与賀館)	東与賀館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 東与賀館調べもの相談件数 (735件/R4実績) ② 東与賀館の調べもの相談への利用者満足度 (94.7%/R4.5月調査)	①240件 ②95%	①1,248件 ②96.3%	東与賀館
			-				江頭
	調べもの相談(富士館)	富士館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 富士館調べもの相談件数 (517件/R4実績) ② 富士館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R4年5月調査)	①470件 ②100%	①658件 ②98.1%	富士館
			-				副島

事業内容	調べもの相談(三瀬館)	三瀬館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 三瀬館調べもの相談件数 (264件/R4実績) ② 三瀬館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R4年.5月調査)	①230件 ②100%	①272件 ②100%	三瀬館
			-				副島
	調べもの相談(川副館)	川副館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 川副館調べもの相談件数 (617件/R4実績) ② 川副館の調べもの相談への利用者満足度 (94.7%/R4.5月調査)	①690件 ②100%	①366件 ②100%	川副館
			-				山田
	調べもの相談(久保田館)	久保田館での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	① 久保田館調べもの相談件数 (363件/R4実績) ② 久保田館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R4.5月調査)	①600件 ②100%	①309件 ②72.7%	久保田館
			-				江頭
	調べもの相談(6分室)	各分室での調べもの相談の対応を行う	通年サービス	・分室調べもの相談件数 (5,816件/R4)	6,100件	6,412件	サービス係(分室)
			-				江里口
	パスファインダーの作成	特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べ方の案内をまとめた「パスファインダー」を作成し、館内やホームページで配布する。	通年サービス	・パスファインダー提供数 (8点/R4)	8点	8点	サービス二係
			-				宮地
	リクエストサービス	市立図書館で所蔵していない資料の購入の要望ができるサービスを行う。	通年サービス	・「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (92.0%/R4.5月調査)	92.0%	87.3%	サービス二係
			-				社本
相互貸借サービス	市立図書館で所蔵していない資料を、他の図書館から取り寄せるサービスを行う。	通年サービス	・相互貸借(借入)点数 (1,857点/R4年度)	2,132点	1,665点	サービス二係・分館	
		-				宮地	
図書館資料整備事業	市民のニーズに応じた資料の提供ができるよう、図書館資料の整備を行う。	通年サービス	①「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (92.0%/R4.5月調査) ②「CD、DVDなど視聴覚資料の充実」への利用者満足度 (74.6%/R4.5月調査)	①92.0% ②74.6%	①87.3% ②70.4%	サービス二係・各分館	
		-				社本	
新聞の収集・提供	全国紙や地方紙、業界紙などを提供する。	通年サービス	・提供誌数(のべ)66誌 (本館41誌・分館25誌/R4年度)	66誌	64紙 (本館39紙、分館25紙)	サービス二係・各分館	
		-				折原	
雑誌の収集・提供	趣味や仕事に役立つ雑誌資料を提供する。	通年サービス	① 提供誌数(のべ) 594誌 (本館307誌・分室64誌・分館239誌/R4年度当初) ② 貸出点数 (70,995点/R4年度)	①600誌 ②78,900点	①560誌 (本館288、分室60、分館212) ②66,687点	サービス二係・各分館・各分室	
		-				瀬戸	
全国の観光情報の収集・提供	全国の観光パンフレットを収集し、本館内で閲覧できるようにする。	通年サービス	・全国を5つの地区に分け順に観光パンフレットの収集・入替を行う。R5は九州・沖縄地方の県および市町村に依頼	九州・沖縄地方の観光パンフレットの収集・入替	九州・沖縄地方の観光パンフレットの収集・入替	サービス二係	
		-				西村	
地域資料の収集・提供	佐賀の歴史や地理、地場産業や観光等、佐賀に関する地域資料を提供する。	通年サービス	・設定なし(館内閲覧のため利用数の確認ができない。)	-	-	サービス二係・各分館	
		-				天野	

事業内容	行政情報の収集・提供	佐賀市や佐賀県等の行政情報(統計情報・各種計画・議会資料など)を提供する。	通年サービス -	・設定なし(館内閲覧のため利用数の確認ができない。収集点数も自治体の部署の作成状況に依存する。)	-	-	サービス二係・各分館 折原
	佐賀新聞記事デジタル化データの閲覧サービス	明治17年の創刊号から平成30年3月までの佐賀新聞記事を提供する。	通年サービス -	・利用回数(124回/R4実績)	144回	89回(7.4回/月)	サービス二係 宮地
	北山公論(ほくざんこうろん)デジタル化データの閲覧サービス	大正14年～昭和14年に富士町の北山村エリアで出されていた月刊の新聞「北山公論」のデジタル化データを提供する。	通年サービス -	・利用回数(0回/R4実績)	12回	0回	サービス二係・富士館 宮地・副島
	【重点事業】電子図書館システム試験導入事業	図書館利用が困難な市民へのサービス拡充と、郷土関連資料(郷土資料、行政資料、市民の学習成果等)のアーカイブ及び利用促進を目的として電子図書館システムを試験導入する。	その他事業 -	・R5年6月のサービス開始に向けて、システムの構築や運用に向けた各種準備を行う。	R5.6サービス開始	R5.6サービス開始	総務企画係/サービス二係 矢ヶ部・宮地
	商用データベースの提供	本館調べものコーナーの電子メディア閲覧用パソコンで、新聞記事や農業・法律情報などの商用データベースを館内で閲覧できるよう提供する。	通年サービス -	① 提供データベース数(7件/R4実績) ② 利用回数(56回/R4実績)	①7件 ②120回	①7件 ②57回(4.8回/月)	サービス二係 宮地
	所蔵検索サービス	市立図書館や他の図書館にある資料の所蔵検索サービスを行う。	通年サービス -	・設定なし(レファレンスサービスに含む)	-	-	サービス二係・各分館・各分室 宮地
	国立国会図書館のデジタル化資料の閲覧サービス	国立国会図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。	通年サービス -	・利用回数(11回/R4実績)	24回	3回	サービス二係 宮地
	「歴史的音源」の提供	歴史的音盤アーカイブ推進協議会がデジタル化した、1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を、館内で提供する。	通年サービス -	・利用回数(2回/R4実績)	12回	0回	サービス二係 宮地
	複写サービス	市立図書館所蔵の資料について、著作権法第31条(図書館等における複製)の範囲内で複写するサービスを提供する。	通年サービス -	・複写件数(2,590件/R4実績)	3,060件	2,280件	サービス二係・大規模分館 宮地
	モバイルインターネットコーナー	調査研究のために持ち込んだパソコンを使ってインターネットに接続できるコーナーを設置する。(有線LAN接続)	通年サービス -	・利用回数(240回/R4.1～R4.12実績) ※「LANケーブル」の貸出点数で算出。	240回	146回	総務企画係・サービス一係 矢ヶ部
	公衆無線LANサービス	インターネット上の情報資源を調査研究に活用するため、公衆無線LANサービスを提供する。	通年サービス -	① 利用者数(2,950人/R4.6～R4.12実績) ※各月ごとのユニーク数 ② のべ利用時間(14,698分/R4.6～R4.12実績)	①5,040人 ②25,200分	①6,698人 ②32,320分	総務企画係・サービス一係 矢ヶ部
	レフェラルサービス	レファレンス(調べもの相談)サービスにおいて、市立図書館の資料で回答を提供できない場合には、他機関に照会し、資料の入手や専門機関の紹介を行う。	通年サービス -	・設定なし(レファレンスサービスに含む)	-	-	サービス二係 宮地

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	③市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。
サービス計画に記載した具体例	○様々なメディアによる情報発信 ○来館のきっかけとなるイベントの開催
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・図書館の新規利用者を増やすため、未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	ホームページによる情報発信	市立図書館のサービスについて、ホームページで情報発信する。	通年サービス -	・ホームページアクセス件数 (157,675件/R4年度)	170,000件	156,529件	総務企画係 豊福
	市報による情報発信	全戸配布される市報で、月に1回市立図書館の開館時間やイベント等の情報発信を行う。	通年サービス -	・市報への掲載件数 (12回/R4年度)	12回	12回	総務企画係 豊福
	図書館報による情報発信	イベントやお知らせ、市立図書館の紹介、おすすめの本を紹介する館報を発行して情報発信を行う。	通年サービス -	・館報配布部数 (20,000部/R4年度) ※配布先は、本館・分館・分室のほか、県内の公共図書館・市内の学校・歯科医師会・本館近隣の事業所4,000戸	20,000部	20,000部	総務企画係 豊福
	マスメディアを利用した情報発信	市立図書館の取り組みや活用方法を知ってもらうため、コミュニティFMへの定期出演や、マスメディアの取材による情報発信を行う。	その他事業 -	① マスメディアへの出演 えびすFMラジオ (11回/R4年度) ② 市政記者室投込み (7回/R4年度)	①12回 ②10回	①10回 ②6回	総務企画係 豊福
	SNSを利用した情報発信	10代後半～20代の若者をターゲットに、SNSの特性を利用して、図書館の魅力や活用方法を伝える。また、九州内の県庁所在地図書館におけるSNSの利用状況、発信内容確認。目的に最も適したSNSの検討などに取り組む。	その他事業 -	・SNSフォロワー数 (351人/R6.2.10現在)	300人	376人	総務企画係 豊福

事業内容	未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方検討	未利用者をターゲットにした企画や広報のあり方の検討を行う。	その他事業 -	指標の設定なし	-	-	総務企画係 豊福
	分室利用促進のためのイベントの実施	分室の利用者や普段利用しない市民に来館してもらい、利用のきっかけとなるイベントを開催する。	イベント 1-3-1	イベント参加者数 (2,917人/R4年度)	2900人	3,044人	サービス係 江里口
	図書館秋のコンサート	気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、クラシックやアニメ音楽等による演奏会を開催する。	イベント 1-3-2	47名(R4年度)	50名	50名	総務企画係 豊福
	【新規】ピアノワークショップ	気軽に図書館へ来館するきっかけとすること、楽器ピアノの歴史や音が出るしくみなどを学ぶことを目的に、音楽を楽しむワークショップを開催する。	イベント 1-3-3	新規のため実績なし	15名	28名	総務企画係 豊福
	落語会	気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、落語会を開催する。	イベント 1-3-4	38名(R4年度)	50名	43名	総務企画係 豊福
	ブーカスマつりの開催	自動車図書館の利用が減少する夏休みや冬季に、貸出点数に応じたオリジナルグッズを贈り、PRと利用促進を図る。。	イベント 1-3-5	①利用者数 (188人/R4.7~8.12月) ②貸出点数 (897点/R4.7~8.12月)	①利用者数/250人 ②貸出点数/1,500点	①120人 ②642点	総務企画係 豊福
	本館外周部でのイベントに併せた除籍本の配布	本館外周部実施されるイベントに併せ、図書館を普段利用しない若い世代をターゲットにした除籍本の配布や図書館の取組の紹介を行う。	イベント 1-3-6	・除籍本の配布数(804点/R4実績)	800点	765点	総務企画係・サービス係 矢ヶ部・木村
	【本館】除籍資料の市民への配布	本館で除籍した資料(書籍・雑誌)を来館者に無償で譲渡する。	イベント 1-3-7	・利用者数(40名×4回=160名) ・除籍本の譲渡冊数(3,200点/R4実績)	①利用者数 160名 ②譲渡冊数 3,200冊	①609名 ②6,330点	サービス係 江里口
	【新規】絵本・紙芝居作家 長野ヒデ子さん 読み語り講演&トークイベント	市立図書館本館のリニューアル周知を目的としたイベントを開催する。	イベント 1-3-8	新規のため実績なし	70人	71人	総務企画係 矢ヶ部
	【新規】自動車図書館搭乗体験&撮影会	市立図書館本館のリニューアル周知を目的としたイベントを開催する。	イベント 1-3-9	新規のため実績なし	100人	105人	総務企画係 豊福
	【大和館】大和館まつり<秋の読書週間イベント>	①雑誌付録プレゼント:定期購読する雑誌付録を抽選で利用者に提供する。 ②ブックリサイクル:大和館の除籍した図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。	イベント 1-3-8	・参加人員(R4実績) ①配布数1,578枚 応募数1,349枚 ②譲渡冊数7,414冊 参加人数1,575人	①応募数 900枚 ②参加人数 1,050人	①1,035枚 ②924人	大和館 駄原、姉川、副島、伊東、堤
	【新規】【大和館】大和館開館20周年記念イベント	①開館当時の資料を掲示する。 ②大和館へのメッセージを掲示する。 ③大和館に因んだクイズを毎月1問出題する。 ④マスコットキャラクターをデータ化し記念グッズを作成する。 (カードケース、しおり、チャーム)	イベント 1-3-9	・新規事業につき実績なし	① - ② 揭示数 100枚 ③ 回答数 100点 ④ 配布数 100点	① - ② 235枚 ③ 未実施 ④ 302点	大和館 野中、駄原、姉川、山崎、副島、伊東、堤

事業内容	【新規】 【大和館】 図書館利用カードケースの提供(開館20周年記念)	新規カード作成者に、カードケースを提供する。	イベント 1-3-10	・新規カード作成者数(287人/R3)	287人	302人	大和館 野中、駄原、姉川、山崎、副島、伊東、堤
	【諸富館】 夏休みスタンプラリー	本(雑誌/CD/DVDを含む。代理貸出/マンガは除く。)を5冊以上借りたらスタンプを1個押す。集めたスタンプの数に応じてプレゼント用意。	イベント 1-3-11	・参加人数(240人/R4.7-8実績)	250人	257人	諸富館 松尾
	【諸富館】 新春くじびき (雑誌ふろくプレゼント)	貸出者(書籍5冊以上)に雑誌付録などを抽選でプレゼントする。	イベント 1-3-12	・参加人数(109人/R4.1実績)	130人	113人	諸富館 吉田
	【諸富館】 ブックリサイクル	諸富館で除籍した雑誌・書籍を、来館者に譲渡する。	イベント 1-3-13	・除籍雑誌・書籍の配布数 (1回目:336冊/R4.6実績、2回目:412冊/R4.11-12実績)	800冊	1,125冊	諸富館 吉田
	【東与賀館】 ブックリサイクル	東与賀館で除籍した資料を来館者に無償で譲渡する。 (R5年度は、業務の都合により雑誌リサイクルを翌年度に延期)	イベント 1-3-14	①-1 除籍(図書)資料の配布数(1,420点/R4.10実績) ②-1 図書リサイクル参加人数(278人/R4.10実績) ①-2 除籍(雑誌)資料の配布数(623点/R4.1実績) ②-2 雑誌リサイクル参加人数(124人/R4.1実績)	①2,500点 ②450人	①648点 ②179人	東与賀館 古賀み、古賀れ、内田、大川内
	【富士館】 夏休み子どもワークショップ	夏休み中の子どもたちを対象に、図書館資料を参考にした手作り体験と、ブックトークを行う。	イベント 1-3-15	参加人数6人(R4.8実績)	10人	7人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【新規】 【富士館】夏の抽選会	資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録等のプレゼントを配布する。	イベント 1-3-16	・抽選会イベント 応募総数延べ313人(R4.8実績)	320人	221人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 ほんの森の秋まつり2023 (秋の読書週間)	秋の読書週間にあわせて、利用者参加型のゲームと除籍本の配布を行う。	イベント 1-3-17	①ブックリサイクル ②除籍本の冊数850点(R4.11実績) 参加人数106人(R4.11実績)	①900点 ②100人	①925点 ②90人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 冬の抽選会	資料を借りた利用者に応募券を配布し、雑誌付録・カレンダー等のプレゼントを配布する。	イベント 1-3-18	・抽選会イベント 応募総数延べ211人(R4.12実績)	230人	201人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【三瀬館】 秋の読書週間イベント2023 (秋の読書週間)	秋の読書週間に次のイベントを行う。 ①利用者のおすすめ本紹介 ②雑誌付録プレゼント ③リサイクルブックコーナー	イベント 1-3-19	・参加者数①19人②56人③45人(2022.11実績)	①30人②60人③50人	①13人 ②43人 ③70人	三瀬館 北古賀、石橋、中島
	【三瀬館】 クリスマスふれあい おはなし会	図書館を、異世代交流の場とした地域とつながる拠点とするために、介護老人福祉施設、保育園との3館交流のおはなし会を開催する。	イベント 1-3-20	・参加者数37名(2019.12実績) ※R2,R3,R4年度は中止	40名	中止	三瀬館 北古賀、石橋、中島
	【川副館】 夏休みスタンプラリー	本を借りたらスタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを渡すことで、利用者が楽しく来館できる機会を作る。	イベント 1-3-21	・スタンプラリーの台紙配布数(112点/R4年度実績)	150枚	96枚	川副館 戸田・西・藤井
	【川副館】 秋の読書くじ (秋の読書週間イベント)	秋の読書週間に合わせて、資料を借りた利用者にくじを引かせる。	イベント 1-3-22	・参加者数(155人/R4実績)	150人	165人	川副館 戸田・西・藤井

事業内容	【川副館】 ブックリサイクル	川副館で除籍した図書・雑誌を 来館者に無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数(442冊/R4実績)	450冊	663冊	川副館
			1-3-23				戸田・西・藤井
	【久保田館】 年始イベント	新年の始まりに来館した利用者に、 くぼたくじ(おみくじ)を引いてもらい 景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数(68人/R5.1実績)	70人	57人	久保田館
			1-3-24				蒲原、小松、篠原
	【久保田館】 スタンプラリー (秋の読書週間)	秋の読書週間に、貸出数によって台紙に シールを貼り、その数に応じて景品を プレゼントする。	イベント	・参加人数(62人/R4.10実績)	80人	105人	久保田館
			1-3-25				蒲原、小松、篠原
	【新規】 【久保田館】 ブックリサイクル	久保田館の除籍資料を来館者に 無料で譲渡する。	イベント	①除籍資料の配布数 ②リサイクル参加人数	①20点 ②10人	①25点 ②8人	久保田館
							蒲原、小松、篠原

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	④市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。
サービス計画に記載した具体例	○資料の展示・ポスターやチラシの掲示 ○市民向け講座等の開催 ○レファレンス事例の公開(「レファレンス協同データベース」への事例登録)
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・市民が生涯学習などの学習成果を活用する機会を提供するための取組を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	「季節の棚」の展示	その季節に応じた図書館資料やパンフレットなどの展示を行う。	通年サービス -	・展示回数 (28回/R4年度)	24回	25回	総務企画係 豊福
	資料のテーマ展示	時事に併せたテーマを設定し、図書館資料の展示を行う。	通年サービス -	・展示回数 56回 (一係:12回/R4実績) (二係:44回/R3実績)	56回(一係、二係合計)	55回 一係:12回 二係:43回	サービス係・サービス二係 内山、宮地
	郷土資料展示	郷土の人物や事柄についての資料の展示を行う。	通年サービス -	・展示回数 (4回/R4実績)	4回	4回	サービス二係 宮地
	他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布	他団体イベント等のポスター掲示やチラシの配布	通年サービス -	・ポスター・チラシ受付件数 (1,341件/R4年度) ※受付簿記入分	1300件	1,362件	総務企画係 豊福
	図書館職員おすすめの本の展示	来館者が多様な資料に興味を持つきっかけづくりのため、図書館職員がすすめる本の展示を行う。	イベント 1-4-1	・展示資料数(46点/R4年度) ※おすすめ本が貸出に出た場合は、同一分野の本や同一作家の別の作品などの関連資料を展示した。	50点	51点	総務企画係 豊福
	佐賀大学地域連携型公開講座の開催	郷土史に興味を持ってもらうため、また興味を持つ人の知的欲求を満たすため、佐賀大学から講師を招いて地域学講座を開催する。	イベント 1-4-2	①講座開催回数(3回/R4実績) ②参加者の満足度(84.7%/R4実績)	①3回 ②85%	①3回 ②92%	サービス二係 梶本

事業内容	データベース活用講座の開催	佐賀市立図書館本館で利用できる商用データベースを活用してもらうため、使い方の講座を開催する。(農業情報データベース、法律情報データベース)	イベント	①講座開催回数(1回/R3実績) ②参加者の満足度(89%/R3実績)	①1回 ②89%	①1回 ②70%	サービス二係
			1-4-3				宮地
	学習成果を発表する機会の提供の検討	生涯学習などの学習成果を発表する機会を提供する取組の検討を行う。	その他事業	(指標の設定なし)	-	-	総務企画係・サービス二係
			-				豊福、山口
	「レファレンス協同データベース」への事例登録	市立図書館のレファレンス事例を、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に登録する。	通年サービス	・事例登録総数(699件/R5.1.月末現在)	750件	688件	サービス二係
			-				宮地
	【諸富館】 どくしの木	葉っぱ型の用紙に、自分がすすめる本のタイトルと感想を書いてもらい、木を模した台紙に貼り付けて紅葉させることで、普段手に取らない本を読むきっかけを作る。	イベント	・参加人数(96人/R4.10-11実績)	100人	100人	諸富館
			1-4-4				松尾
	【東与賀館】 シチメンソウ及びラムサール条約関係資料展示	東よか干潟に関連した資料(シチメンソウやラムサール条約)を展示する。(10月上旬～11月下旬)	イベント	・展示回数(1回/R4実績)	1回	1回	東与賀館
			1-4-5				古賀み、古賀れ、内田、大川内
	【東与賀館】 新春☆福みくじ	5点以上貸出の方にクジを引いてもらい、松・竹・梅のプレゼントを配布する。	イベント	福みくじ参加人数(108人/R5.1実績)	120人	98人	東与賀館
			1-4-6				古賀み、古賀れ、内田、大川内
【東与賀館】 秋の読書週間イベント 「みんなの『きになる本』」	果実形のカードに、自分がすすめる本を記載してもらい、樹木を模したボードに添付し、『きになる本』として紹介する。	イベント	・参加人数(19人/R4.10実績)	30人	41人	東与賀館	
		1-4-8				古賀み、古賀れ、内田、大川内	
【三瀬館】 七夕笹飾り展示	館入口に本物の笹を設置。利用者が七夕飾りや願いごとを短冊にかき飾る。また、関連本を展示し、日本古来の伝統に興味関心を抱くきっかけをつくる。	イベント	・参加者数(35人/2022.7実績)	40人	30人	三瀬館	
		1-4-9				北古賀、石橋、中島	

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	①子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと保護者が一緒に利用しやすいサービスの提供 ○子どもと保護者が一緒に楽しめるおはなし会の開催 ○乳幼児と保護者が一緒に本に親しむための取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり課主催の「3～6ヶ月児セミナー」に、児童サービス担当職員が出向き、実際に読み語りをしたり、親子で絵本を楽しむ方法などに関する話を行う予定だったが、コロナ禍で中止となっていた当該セミナーは再開されないまま、令和4年度に廃止された。 その代替策として、本館での赤ちゃんおはなし会の回数を増やして、その中で親子で絵本を楽しむ方法などに関する話を行っていく。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	本館児童コーナー及び児童カウンターの運営	子ども向けの資料やおはなしの部屋、子どもトイレなどを備えた児童コーナーを運営する。また、児童サービスに精通した職員が常駐する児童カウンターを児童コーナー内に設置する。	通年サービス	① 旧佐賀市の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (33.43%/R4年度末) ② 旧佐賀市の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (8.41点/R4年度) ③ 本館の児童サービス利用満足度 (90.3%/R5年5月調査)	①39.2% ②8.94点 ③97.4%	①34.4% ②8.87点 ③90.7%	サービス二係
			-				原口
	【大和館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 大和町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (33.51%/R4年度末) ② 大和町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (7.33点/R4年度) ③ 大和館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (97.7%/R5年5月調査)	①39.54% ②7.60点 ③100%	①33.3% ②6.8点 ③94.1%	大和館
			-				宮崎
	【諸富館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 諸富町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (35.92%/R4年度末) ② 諸富町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (7.18点/R4年度) ③ 諸富館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (97.0%/R5年5月調査)	①41.1% ②6.67点 ③100%	①35.7% ②6.2点 ③100%	諸富館
			-				山田
	【東与賀館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 東与賀町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (50.00%/R4年度末) ② 東与賀町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.55点/R4年度) ③ 東与賀館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (94.1%/R5年5月調査)	①56.71% ②6.89点 ③91.4%	①46.8% ②5.0点 ③100%	東与賀館
			-				江頭

事業内容	【富士館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 富士町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (66.22%/R4年度末) ② 富士町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (11.63点/R4年度) ③ 富士館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R5年5月調査)	①68.1% ②15.91点 ③100%	①63.6% ②12.3点 ③100%	富士館
			-			副島	
	【三瀬館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 三瀬村の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (72.34%/R4年度末) ② 三瀬村の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (15.87点/R4年度) ③ 三瀬館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (94.5%/R5年5月調査)	①74.5% ②17.07点 ③100%	①79.4% ②14.1点 ③100%	三瀬館
			-			副島	
	【川副館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 川副町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (27.67%/R4年度末) ② 川副町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (3.28点/R4年度) ③ 川副館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (94.7%/R5年5月調査)	①33.8% ②4.23点 ③92.2%	①26.2% ②3.1点 ③100%	川副館
			-			山田	
	【久保田館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 久保田町の子ども(0～18歳)の利用登録割合 (36.59%/R4年度末) ② 久保田町の子ども(0～18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.54点/R4年度) ③ 久保田館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R5年5月調査)	①42.90% ②6.28点 ③100%	①37.2% ②5.4点 ③90.9%	久保田館
			-			江頭	
	【各分室】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	分室の児童書貸出点数 (93,214点/R4年度)	105,200点	85,897点	サービス係(分室)
			-			江里口	
	3歳児以降を対象にした 定例おはなし会の開催(本館) ※年齢はめやす	児童コーナー内のおはなしの部屋で、 おはなしボランティアによるおはなし会を 定例で開催する。	通年サービス	① おはなし会の開催回数 (45回/R4年度) ② おはなし会の参加者数 (725人/R4年度) ※R4はコロナ感染拡大の時期には中止	①毎週土曜日 ②840人	①60回 ②903人	サービス二係
			-			原口	
	冬のあったかおはなし会の開催	子どもと保護者が一緒に楽しめる おはなし会を、おはなしボランティア 「がらがらどん」と協働して開催する。	イベント	①おはなし会の開催回数(1回/R1年度) ②おはなし会の参加者数(139人/R1年度) ※R2・R3・R4はコロナ感染拡大防止のため中止	①1回 ②100人	①0回 ②0人	サービス二係
2-1-1					原口		
小学生向けの 定例おはなし会(本館)の開催	毎月第一土曜日に、児童コーナーの おはなしの部屋でボランティア団体 「すばなしの会」による「小学生からの おはなし会(すばなし)」を開催する。	通年サービス	① おはなし会の開催回数 (9回/R4年度) ② おはなし会の参加者数 (22人/R4年度) ※R4はコロナ感染拡大の時期には中止	①毎月第1土曜日 ②115人	①11回 ②108人	サービス二係	
		-			原口		
赤ちゃん向けの 定例おはなし会(本館)の開催	児童コーナーの赤ちゃん絵本サークルで、 司書による赤ちゃん向けのおはなし会を 定例で開催する。	通年サービス	① おはなし会の開催回数 (0回/R4年度) ② おはなし会の参加者数 (258人/R1年度) ※R2・R3・R4はコロナ感染拡大防止のため中止	①毎週木曜日 520人	①37回 ②613人 ※場所は おはなしの へや	サービス二係	
		-			原口		
【大和館】 定例おはなし会	毎月第2・4水曜日11時に司書が、 毎月第1・3土曜日11時に ボランティア団体がおはなし会を行う。	通年サービス	・参加人数 183人/R4実績 ※司書 14回 72人 ボランティア 15回 111人 ※9/26～10/27 空調工事のため休館	340人	403人	大和館	
		-			伊東、姉川		
【大和館】 おはなしだいすきSP	夏休みに手遊びなどを交えたお話を 開催する。	イベント	・のべ参加人員(36人/R4実績)	36人	21人	大和館	
		2-1-2			姉川、伊東、山崎、 堤、副島		

事業内容	【新規】 【大和館】 こども映画上映会	夏休みにこども向けの映画を上映する。	イベント 2-1-3	・参加人数 実績なし	30人	65人	大和館 野中、伊東、堤
	【新規】 【大和館】 2月の大きなおはなし会 (ボランティアとの共同開催)	手遊びや大型絵本などを交えた 拡大したお話を開催する。	イベント 2-1-4	・のべ参加人員 実績なし	20人	43人	大和館 野中、姉川、駄原
	【諸富館】 定例おはなし会	毎週土曜日、館内の「おはなしのへや」で おはなし会を開催する。「おはなし連絡会 morodomi」と協働で運営を行う。	通年サービス -	・参加人数 (114人/R4実績)	100人	182人	諸富館 吉田
	【諸富館】 すごろくゲーム (こども読書週間)	本を5冊以上借りた子どもに、 すごろく型のゲームに参加してもらう。	イベント 2-1-5	・参加人数と達成者(73人、38人/R4.4-5実績)	80人(参加者)	79人	諸富館 藤田・吉田
	【諸富館】 おはなしの素 (夏のおはなし会)	紙芝居や大型絵本、手遊び等を使った おはなし会を「おはなし連絡会morodomi」 と司書が協働で開催する。 参加者にはプレゼントを配る。	イベント 2-1-6	・参加人数17人(内訳:子ども9人 大人8人 R4実績)	30人	30人	諸富館 吉田・藤田
	【諸富館】 ほかほかふゆのおはなし会	ハンドベルを使ったり、サンタクロースが プレゼントを配ったりするおはなし会を 開催する。	イベント 2-1-7	・参加人数45人(内訳:子ども30人 大人15人 R4実績)	60人	54人	諸富館 藤田・吉田
	【諸富館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスなどにあわせて、 季節を感じることができる飾りつけを行う。 特に七夕は、来館者が記入する短冊を 笹に結んでもらう参加型の行事とする。	その他事業 -	R4年度:七夕、ハロウィン、クリスマス、ひな祭り	年4回	年4回	諸富館 山田
	【東与賀館】 定例おはなし会の開催	毎月第2・4土曜日におはなしの部屋で おはなし会を行う。 おはなし会はおはなしボランティア 「おおきなかぶ」と司書が協働で行う。	通年サービス -	・参加人数 (174人/R4年度実績)	200人	221人	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【東与賀館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が 季節を感じることができる飾りつけを行う。	その他事業 -	・設置回数(2回:七夕・クリスマス/R4年度)	2回	2回	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【東与賀館】 クリスマスおはなし会	クリスマスにおはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で おはなし会を行う。	イベント 2-1-8	・参加人数(17人/R4.12実績)	30人	24人	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【東与賀館】 春の特別おはなし会	春休みにおはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で おはなし会を行う。	イベント 2-1-9	・参加人数 (14人/R5.3実績)	30人	12人	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【東与賀館】 こども読書週間イベント	専用カードを配布して、貸出しの際に スタンプを押し、その数に応じて 図書館にちなんだ景品をプレゼントする。	イベント 2-1-10	・参加人数(70人/R4.4実績)	80人	38人	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【富士館】 えほんのもりおはなし会 (定例おはなし会)	毎月第4土曜日あるいは第2土曜日に おはなし会を行う。月ごとにボランティアと 図書館司書が行う。	通年サービス -	・のべ参加人数40人(R4/6~R5.1実績)	70人	85人	富士館 副島、岡本、池町、野中

事業内容	【富士館】 夏のおはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント 2-1-11	・参加人数8人(R4年度実績)	15人	19人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 冬のおはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント 2-1-12	・参加人数13人(R4年度実績)	20人	3人	富士館 副島、岡本、池町、野中
	【三瀬館】 定例おはなし会	月1回第3土曜日に三瀬公民館会議室でおはなし会を行う。 おはなし会は司書が行う。	通年サービス -	・のべ参加人数(25人/R3)	50人	72人	三瀬館 北古賀、石橋、中島
	【川副館】 出張おはなし会(児童館 ゴーゴーキッズおはなし会)	毎月第1火曜日に、川副児童館でおはなし会を行う。司書が運営を行う。	通年サービス -	R4:5回開催	50人	48人	川副館 戸田・西・藤井
	【川副館】 出張おはなし会 (南川副小学校)	毎月第2水曜日に南川副小学校でおはなし会を行う。司書が運営を行う。	通年サービス -	R4年度中止	200人	92人	川副館 戸田・西・藤井
	【久保田館】 夏のおはなし会	夏休み期間中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなしボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント 2-1-13	・参加者(未開催のため実績なし)	20人	29人	久保田館 蒲原、小松、篠原
	【久保田館】 クリスマスイベント	クリスマスに合わせ、アドベントカレンダーのミッションに基づいて、本を借りた方に手づくりのクリスマスオーナメントをプレゼントする。	イベント 2-1-14	・参加者(200人/R4.12実績)	210人	182人	久保田館 蒲原、小松、篠原
	【久保田館】 冬のおはなし会	1月中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなしボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント 2-1-15	・参加人数(9人/R5.1実績)	20人	27人	久保田館 蒲原、小松、篠原
	【久保田館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が季節を感じることができる飾りつけを行う。	その他事業 -	・設置回数(2回:七夕・クリスマス/R4年度)	2回	2回	久保田館 蒲原、小松、篠原
	赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	図書館各館で配布するとともに、健康づくり課が行う乳児家庭全戸訪問の際に配布する。	その他事業 -	・赤ちゃん絵本ガイドブックの配布数(1700冊/R4年度) ・出生数(1,576人/R4年1~12月)+150(館内配布)	2,000冊	1,750冊	サービス二係 原口

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	②子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが新たな知識や本と出会うための取組 ○子どもが図書館や本への興味を持つきっかけづくり ○子どもが情報リテラシーを身につけるための取組 ○郷土に関する調べ学習を支援する取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども司書講座を開催するにあたり、受講した子どもたちが読書リーダーとして活躍できるように、学校図書館と情報共有や連携を図ることが必要である。 ・電子図書館システムの導入に伴い、子どもたちへ利用登録の方法なども含めたPRが必要である。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	おすすめの本小冊子	小学校低学年・中学年・高学年、及び中学生向けに、それぞれを対象とした「おすすめ本」の冊子を、夏休みと冬休みの年2回作成し、市立図書館や児童館で配布する。	通年サービス -	・作成回数(2回/R4実績)	2回	2回	サービス二係 原口
	おすすめの本・課題図書の展示	本館児童コーナーで、おすすめの本や学校の課題図書の展示を行う。	通年サービス -	① 季節のおすすめの本展示回数(85回/R4実績) ② 課題図書展示回数(2回/R4実績)	①80回 ②2回	①80回 ②2回	サービス二係 原口
	ヤングアダルトコーナーの運営	大人への転換期にある中高生を対象にした資料の展示を行う。	通年サービス -	・「おすすめの本紹介」作成回数(4回/R4実績)	4回	4回	サービス二係 原口
	外国語の絵本の収集・提供	日本語を母国語としない子どもや、多様な言語に親しみたい子どものために、多言語の絵本の収集・提供を行う。	通年サービス -	・資料点数(1,739点/R5.1月末現在)	1,749点	1,733回	サービス二係 原口
	ポップバルーンをとばそう！(こどもの読書週間)	利用者の声を取り入れ、情報の双方向性を深めるために、「ポップ」による絵本や読み物の紹介を利用者から募る。	イベント 2-2-1	・イベント参加者数(205人/R4実績)	275人	320人	サービス二係 原口
	図書館たんけん隊	小学生を対象にした館内見学ツアーを開催する。	イベント 2-2-2	・参加者数(13名/R4実績) ※同伴者含	10名 ※同伴者含	14名 ※同伴者含	総務企画係 豊福

事業内容	一日こども図書館長	近隣の小学校に通う児童(2名)に一日図書館長を体験してもらい、こどもの読書週間をPRする。	イベント	・若楠小学校(2名/R4実績)	2名	2名 (西与賀小)	総務企画係
			2-2-3				豊福
	子ども司書講座	小学生を対象とした「子ども司書講座」を開催する。	イベント	① 講座開催回数(4回/R4実績) ② 参加者数(10人/R4実績)	①4回 ②10人	①4回 ②3回	サービス二係
			2-2-4				原口・陣内
	手作り絵本教室	専門の講師を招き、手作りの絵本を作成する体験教室を行う。	イベント	① 教室開催回数(3回/R4実績) ② 教室参加者数(延べ72人/R4実績)	①3回 ②70人	①3回 ②99人	サービス二係
			2-2-5				原口
	図書館への手紙(児童)	本館児童コーナーに「図書館への手紙」を送ることができるポストを設置し、手紙と児童コーナー職員からの返事を児童コーナー内で閲覧できるようにする。	通年サービス	・子どもからの手紙への返事(100%/R4年度)	100%	100%	サービス二係
			-				原口
	図書館見学・職場体験の受入れ	図書館見学や職場体験の受入れを積極的に実施する。司書資格の取得を目指す生徒には、資格の取得方法等についてのアドバイスをを行う。	その他事業	① 見学受入数(4件/R4実績_R4.1末時点) ② 職場体験受入数(1件/R4実績_R4.1末時点)	①4件 ②1件	①1件 ②1件	総務企画係
			-				矢ヶ部
	夏休み理科自由研究の支援「君を助け隊」の開催	小中学生を対象に、夏休みの自由研究の目的やテーマの決め方、調査方法やまとめ方などについて、専門の講師を招いて個別指導を行う。	イベント	① ポイント編(24名/R4年度) ② まとめ編(15名/R4年度) ※いずれも保護者同伴者含	①ポイント編30名 ②まとめ編 30名 ※保護者等同伴者含	①20名 ②17名 ※保護者等同伴者含	総務企画係
			2-2-6				豊福
	調べる学習小学生講座/コンクール	小学生を対象に、図書館を使った調べる学習の体験講座を開催する。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを開催し、優秀作品を全国コンクールへ推薦する。	イベント	① 講座参加人数(17人/R4実績) ② コンクール応募数(44作品/R4実績)	①20人(定員) ②50作品	①4人 ②16作品 ※高学年の部の講座は中止	サービス二係
			2-2-7				レファ担当・児童担当
	郷土に関する文献・情報の調べ方の案内	郷土に関するパスファインダー(特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた)を学校に紹介するなど、調べ学習に役立つ情報を提供する。	その他事業	・パスファインダー作成及び提供数(12点/R3実績) ※子どもを対象とした郷土に関する本のリストを作成し、パスファインダーを作成する(R3~)。	12点	12点	サービス二係・各分館
-			宮地				
【重点事業】 電子図書館システム 試験導入事業	図書館利用に障がいがある市民へのサービス拡充と、郷土関連資料(郷土資料、行政資料、市民の学習成果等)のアーカイブ及び利用促進を目的として電子図書館システムの試験導入を行う。	その他事業	・R5年6月のサービス開始に向けて、システムの構築や運用に向けた各種準備を行う。	R6.6サービス開始	R6.6サービス開始	総務企画係/サービス二係	
		-				矢ヶ部・寺下	
「みんなで読もう! オススメ本」	県内の著名人が推薦する児童書や絵本と推薦文を展示する。	イベント	展示月(3~4月)の本館児童書貸出点数 50,674点(R4.3-R4.4)	51,000点	46,314点	総務企画係	
		2-2-8				矢ヶ部	
【大和館】 こどもの読書週間イベント ＜図書館で人生ゲーム2023＞	本を借りると人生ゲームカードがもらえ、サイコロの目に応じてスタンプを押し、ゴールすると手作りのプレゼントがもらえる。	イベント	・参加人数(214人/R4実績) 一つ目のプレゼント到達者 106人 最終ゴール到達者 23人	214人	267人	大和館	
		2-2-9				野中、駄原、山崎、副島	
【大和館】 夏休み小学生司書のお仕事体験	夏休み期間中の小学生に、貸出や返却などのカウンター業務や、書架整理など、司書の仕事を体験してもらう。	イベント	・参加者数(4人/R4.8実績)	4人	4人	大和館	
		2-2-10				駄原、山崎、伊東	

事業内容	【諸富館】 図書館のお仕事体験	夏休み期間中の小学生に、図書館の仕事やおはなし会を体験してもらう。	イベント	R3・4年度は中止（こども図書館長）。 ・参加人数（3人/H31.3実績）	3人	2人	諸富館
			2-2-11				吉田
	【東与賀館】 サマースタンプラリー	夏休み期間中の子どもを対象としたスタンプラリーを実施する。 押印した数に応じてプレゼントを配布。	イベント	・参加人数（151人/R4.8実績）	160人	224人	東与賀館
			2-2-13				古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【富士館】 通年わくわくスタンプチャレンジ	本の貸出（1日1回まで）につき、スタンプを押す。一定数集めるごとにプレゼントを配布。こどもの読書週間は「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」を行う。 ※通年イベント	イベント	・配布枚数（100枚/R4年度実績）	100人	100人	富士館
			2-2-14				副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 ほんの森の春まつり2023 （こどもの読書週間）	子ども向けに、図書館や本に関するクイズ「めざせ！としょかんクイズ王」を行う。イベント期間中は小学生以下を対象に「わくわくスタンプダブルスタンプキャンペーン」も行う。	イベント	① 内容変更のため新規（実績なし） ② 参加人数20人（R4年度実績）	50人	41人	富士館
			2-2-15				副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 図書館オリエンテーション	富士校小学部と協働で実施。学校に出向き、低・中・高の各学年に向けて市立図書館の使い方やブックトーク、おすすめの本を紹介する。	イベント	・参加人数86人（R1年度実績） ※R2、R3、R4年度は中止	全校児童98人程度	中止	富士館
			2-2-16				副島、岡本、池町、野中
	【富士館】 図書館見学	富士校小学部及び北山校小学部と協働で実施。図書館内の見学、ブックポスト、児童からの図書館に関する質問に答える。また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	① 参加人数11人（R4年度実績：富士校11人+北山校0名） ② 富士町在住の7～9歳の利用登録率（67.1%/R4年度末） ※51人/76人	①富士校10人程度、 北山校6人程度 ②78.3%	①20人 ②53.6%	富士館
			2-2-17				副島、岡本、池町、野中
	【川副館】 こどもの読書週間イベント 「はるのおべんとうまつり」	貸出時におべんとうシールを渡す。 集まったシールでおべんとうが完成したら、景品をプレゼントする。	イベント	・参加者（19人/R4年度実績）	50人	19人	川副館
			2-2-18				戸田、西、藤井
	【三瀬館】 こどもの読書週間イベント 本を借りてくじ引こう	こどもの読書週間に合わせイベントを行う。	イベント	・参加者数（84人/R4.4実績）	100人	55人	三瀬館
2-2-19			北古賀、石橋、中島				
【三瀬館】 2023夏読書がんばりカード	三瀬小学校と連携し、シールを多く集めた子を学校で表彰。三瀬小以外の参加者は図書館で表彰する。	イベント	・参加者数（25人/R4.9実績）	50人	30人	三瀬館	
		2-2-20				北古賀、石橋、中島	
【新規】 【三瀬館】 図書館見学	三瀬小学校と協働で実施。 ブックポストや閉架書庫などの見学や、子ども達の質問に答える。 また、おはなし会やイベント案内を行う。	イベント	① 三瀬小学部 2年生 ② 三瀬村在住の7～9歳の利用登録率（79.2%/R4年度末） ※19人/24人	①10人程度 ②82.1%	①12人 ②85.0%	三瀬館	
		2-2-21				北古賀、石橋、中島	
【久保田館】 スタンプラリー （春と夏のイベント）	春休みと夏休みに実施。課題を達成する毎に台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする子ども向けイベント。	イベント	① 春の参加人数（78人/R4.3実績） ② 夏の参加人数（78人/R4.8実績）	①80人 ②80人	①75人 ②106人	久保田館	
		2-2-22				蒲原、小松、篠原	
【久保田館】 おすすめの本紹介 （こどもの読書週間）	4月下旬～5月中旬。こどもの読書週間に合わせ、おすすめの本を紹介するPOPを作成してもらい、館内に掲示する。POPを作成した子どもにはプレゼントを配布。	イベント	・参加人数（51人/R4.4実績）	50人	65人	久保田館	
		2-2-23				蒲原、小松、篠原	

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	③子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の団体貸出や除籍資料の配布 ○読書や読み語りに関する情報提供や相談受付 ○読み語りボランティア活動の支援
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども司書講座を開催するにあたり、受講した子どもたちが読書リーダーとして活躍できるように、学校図書館と情報共有や連携を図ることが必要である。 ・電子図書館システムの導入に伴い、子どもたちへ利用登録の方法なども含めたPRが必要である。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	団体貸出サービス(学校団体)	佐賀市内の市立小中学校を対象に団体貸出を行う。	通年サービス -	① 年間利用学校団体数 (51団体/R4年度) ② 学校団体への年間貸出点数 (10,904点/R4年度)	①51団体 ②13,000点	①51団体 ②9,617点	総務企画係・各分館・各分室 豊福
	おはなし会用資料の貸出	大型紙芝居やパネルシアターなど、おはなし会用の資料の貸出を行う。	通年サービス -	・おはなし会用資料の貸出点数 (82点/R4実績)	115点 (R1同等)	83点	サービス二係 原口
	除籍資料の配布 (市立小中学校・市関連施設)	市立図書館本館で除籍した資料を市立の小中学校や市の関連施設に配布する。	通年サービス -	① 小中学校への除籍資料の配布数 (2,147点/R4年度) ② 児童館等への除籍資料の配布数 (538点/R4年度) ※一係対応分のみ	①2,600点 (R3同等) ②500点 (R2同等)	①2,552点 ②1,314点	サービス一係 江里口
	学校図書館への支援のあり方検討	学校図書館との情報交換により、支援のあり方を検討する。	通年サービス -	指標の設定なし	(指標の設定なし)	-	総務企画係・サービス二係 豊福、原口
	保育園・幼稚園・認定こども園等への情報提供や相談受付	佐賀市立図書館や読み語りに関する情報提供を行うとともに、読み語り等に関する相談に対しアドバイスを行う。	通年サービス -	・情報提供回数 (0回/R4実績)	2回	0回	サービス二係 原口
	読み語りボランティア養成講座の開催	ボランティアの知識や技術の向上を図るとともに、ボランティアに興味がある人が参加できるように講座を開催する。	イベント 2-3-1	① 講座の開催回数 (2回/R4実績) ② 講座の受講人数 (延べ23人/R4実績)	①2回 (R4同等) ②30人 (R3同等)	①2回 ②34人	サービス二係 寺下・永渕

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	①市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○わかりやすい案内サービス ○多様なスペースの提供 ○安心して使用できる居心地のいい空間の提供
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の案内表示については、多言語による案内や視覚的に伝わりやすいピクトグラムなどの使用も考慮しながら、それぞれの内容に合わせて分かりやすい物に更新していく必要がある。また、各コーナーにおいて各担当者により必要な案内表示の修正、追加について検討することも必要である。 ・館内施設の貸出や学習室の利用など、資料の閲覧や貸出など以外に図書館で利用できるサービスについて、市民に分かりやすく伝えるために複数枚の写真や動画などをホームページ等に掲載するなど工夫する必要がある。 ・市民が利用しやすいスペースを提供するためには、大規模改修計画と合わせて進めていく必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	わかりやすい案内表示	図書館内の案内表示について点検を行い、老朽化したものやわかりづらいものがある場合は随時更新していく。	通年サービス -	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館・分室 豊福
	あんないカウンターの運営	本館の利用が多い土日に「あんないカウンター」を設置し、図書館の利用案内やクイックレファレンスへの対応を行う。	通年サービス -	・「あんない」件数 (236件/R4)	1,200件(R2同等)	338件	サービス係 江里口
	閲覧スペースの設置	各館に利用者が自由に読者や調べものなどができる閲覧スペースを設置する。	通年サービス -	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館 若松
	ギャラリー/多目的ホール等の貸出	講演会や発表会、コンサート等で利用できるよう、市内で活動する団体向けに本館施設の一部を貸出する。	通年サービス -	・施設使用件数 (228件/R4年度 多目的ホール 66件、大集会室 82件、和室 45件、研修室 0件、中央・ロビーギャラリー 35件)	250件 ※R5研修室は利用不可	284件	総務企画係 豊福
	学習室の設置	本館及び大和館に学習室を設置する。	通年サービス -	・学習室利用者数(本館)：7,484人/R4年度実績 ※本館は学習室 26席、臨時学習コーナー 12席設置 ※大和館は利用者数をカウントしていない	4,000人	9,884人	総務企画係・大和館 豊福・宮崎

事業内容	喫茶室の設置	本館利用者の食事や休憩などに利用できるよう、喫茶室を設置する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松
	屋外読書スペースの設置	飲食や休憩、読書など多目的で利用できる屋外読書スペースを設置。椅子や机は、劣化状況を確認しながら入替を検討する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松
	施設の定期点検・修繕	休館日を利用して施設の定期点検を行い、修繕を要す箇所については随時、修繕を行う。	その他事業	① 開館中の空調の停止発生件数：0回 ② 開館中のエレベーター停止回数：1回	①0回 ②0回	①0回 ②0回	総務企画係
			-				若松
	施設の定期清掃	施設内の清掃を毎日行う。また、閲覧スペースのワックスがけなど大規模な清掃については休館日を利用して実施する。	その他事業	① 日時清掃：全開館日及び特別整理期間中の最終の2日間 ② 全館ワックスがけ：年2回 ③ カウンター廻りのワックスがけ：年6回 ※いずれもR4年度実績	①全開館日及び特別整理期間中の最終2日間 ②年2回 ③年6回	①全開館日、及び特別整理期間中の最終2日間 ②年2回 ③年6回	総務企画係
			-				若松
	施設の警備	開館時は警備員を常駐させて警備を行う。夜間や閉館日は機械警備を実施する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係
			-				若松

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	②日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語を母国語としない人へのサービス ○障がいにより図書館の利用や読書が困難な人へのサービス ○高齢者を対象としたサービス
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を母国語としない人が図書館を利用しやすいように、市内在住者の母国語の傾向に合わせて、外国語での図書館利用案内の作成や多言語の表示を追加する必要がある。ただし、多くの表示を多言語化することは表示スペース的にも困難なため、主なものを多言語表示として、それ以外のは「やさしい日本語」を使用するなど内容によって工夫していく必要がある。 ・市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討する必要がある。 ・令和元年6月に読書バリアフリー法が施行されたことに伴い、県立点字図書館などと連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	外国語資料のあり方の検討及び収集・提供	外国籍の方の居住実態等を参考にしながら外国語資料の収集を継続して行うとともに、今後の方針について検討を行う。	その他事業 -	① 資料点数 (5,806点/R4年度末) ② 貸出回転率 (0.29回/R4年度)	①5,860冊 ②0.3回	①5,838点 ②0.3回	サービス二係 西村
	多言語での図書館サービス案内	図書館内の案内表記の多言語化を検討し、順次実施していく。	その他事業 -	・ベトナム語による利用案内の作成 (R4年度)	タガログ語による利用案内作成及び館内表示の追加	タガログ語による利用案内作成	総務企画係 豊福
	ハンディキャップサービスコーナーの運営	本館ハンディキャップサービスコーナーの運営を行う。	通年サービス -	(指標の設定なし)	-	-	サービス一係 江里口・澁
	郵送・宅配サービスの実施	視覚障がいや身体が不自由などのため来館が困難かつ家族の支援が受けられない市民を対象に、無料で郵送・宅配による貸出を行う。	通年サービス -	① 郵送・宅配サービスの登録者数 (9人/R4年度) ② 郵送・宅配サービスの実施件数 (79回/R4年度)	①8人 ②92回	①8人 ②66回	サービス一係 江里口・澁
	マルチメディアデジ図書の提供	文字や音声、画像を同時に再生できる電子書籍「マルチメディアデジ図書」の収集・提供を行う。	通年サービス -	① マルチメディアデジ図書の所蔵数 (54点/R4年度) ② マルチメディアデジ図書の新規受入点数 (0点/R4年度)	①57点 ②3点	①54点 ②0点	サービス一係 江里口・澁

事業内容	対面朗読サービスの実施	本館ハンディキャップサービスコーナー内で、ボランティアによる対面朗読サービスを行う。	通年サービス -	・対面朗読サービスの開催日数（50日/R5年度見込み）	51日 (感染症対策を講じた方法での開催)	50日	サービス係 江里口・澁
	【重点事業】 電子図書館システム 試験導入事業	図書館利用に障がいがある市民へのサービス拡充と、郷土関連資料(郷土資料、行政資料、市民の学習成果等)のアーカイブ及び利用促進を目的として電子図書館システムの試験導入を行う。	その他事業 -	・R5年6月のサービス開始に向けて、システムの構築や運用に向けた各種準備を行う。	R5.6サービス開始	R5.6サービス開始	総務企画係/サービス係 矢ヶ部・坂本
	読書バリアフリー法への 対応方針の検討	関連団体や関連部署と連携しながら、障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を検討する。	その他事業 -	※指標の設定なし	-	-	サービス係 江里口・澁
	高齢者向けサービスのあり方検討	認知症支援や高齢者の生きがいつくりなど、高齢者向けのサービスのあり方を検討する。	その他事業 -	※指標の設定なし	-	-	サービス係 江里口・澁
	拡大読書機・虫眼鏡・ 老眼鏡の提供	小さな文字が見えにくい方のために、拡大読書器や虫眼鏡、老眼鏡の提供を行う。	通年サービス -	※指標の設定なし	-	-	サービス係・各分館・各分室 江里口・澁
	大活字本の提供	小さな文字が見えにくい方のために、大活字本の収集・提供を行う。	通年サービス -	① 大活字本の所蔵数（1,496点/R4年度） ② 大活字本の貸出点数（3,003点/R4年度）	①1,500点 ②3,500点	①1,584点 ②3,033点	サービス係・各分館・各分室 江里口・澁

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。
サービス計画に記載した具体例	<ul style="list-style-type: none"> ○年度事業計画の策定と管理 ○長期的な視点での本館施設の管理 ○司書の確保と資質向上への取組 ○危機管理や業務継続性に関する取組 ○業務効率化や外部資金活用のための取組 ○将来の図書館サービスのあり方の検討 ○図書館要覧の作成 ○環境に配慮した取組
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の達成に向けて、事業計画の進捗管理や事業・体制の改善を行っていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症や災害時にサービスを継続させるための体制づくりを行う必要がある。 ・R6～R7年度の大規模改修に向けた計画を策定する必要がある。 ・R5年度の電算システム更新に向けて具体的な要件定義を行う必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	年度事業計画の策定と管理	第3次佐賀市立図書館サービス計画に基づき年度事業計画を策定し、事業やサービスの進捗管理を行う。	その他事業 -	・第3回(※委員改選年)の市立図書館協議会に次年度の年度事業計画を諮る。	R5年度第3回市立図書館協議会に年度事業計画を諮る。	計画通り実施	総務企画係 増本
	県内の公共図書館との情報交換	年度事業計画の策定や図書館サービスの参考とするため、県内図書館の担当者会議に出席するなどして、県内の公共図書館との情報交換を行う。	その他事業 -	・担当者会議への出席回数(年1回/R4年度実績)	2回	2回	総務企画係 矢ヶ部
	図書館要覧の作成	市立図書館の概要(沿革、施設、理念、事業、各種統計など)を記載した図書館要覧を毎年作成し、ホームページで公開する。	その他事業 -	・8月第2週までにホームページで公開する(8/4公開/R4年度実績)	8/10(木)までに公開	7/30公開	総務企画係 矢ヶ部
	【重点事業】 本館施設の大規模改修実施計画策定	R6年度設計、R7～R8年度の工事に向けて大規模改修実施計画策定を行う。	その他事業 -	・なし	R5年度中の大規模改修実施計画策定	基本構想・基本計画の策定	総務企画係 若松
	図書館実習生の受入	司書資格を持つ人材を育成するため、本市出身者や市内在住者を中心に図書館実習生の受入を行う。	その他事業 -	・受入人数(R4年度実績:2名)	2名	4名	総務企画係 矢ヶ部

事業内容	司書の資質向上のための館内全体研修の実施	年に10回程度の館内全体研修を行う。	その他事業 -	・研修の実施回数(9回予定/R4年度)	10回	8回	総務企画係 北島
	佐賀県立図書館主催の研修への参加	県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会が主催する研修に参加する。	その他事業 -	① 佐賀県立図書館主催研修のべ参加人数(9名/R4実績) ② 佐賀県公共図書館協議会主催研修のべ参加人数(5名/R4実績)	①20名(5名×4回) ②9名(3名×3回)	①13名 ②4名	総務企画係 北島
	児童サービス研究会・レファレンスサービス研究会への参加	佐賀県公共図書館協議会が開催する「公共図書館児童サービス研究会」及び「公共図書館レファレンスサービス研究会」に担当職員が参加する。	その他事業 -	① 児童サービス研究会への参加人数(のべ35名/R4実績) ② レファレンスサービス研究会(のべ35名/R4実績)	①50名(10名×5回) ②36名(9名×4回)	①34名 ②34名	サービス二係・各分館 原口・宮地
	専門職である司書の確保	司書資格を持つ優秀な人材の採用に努める。	その他事業 -	・会計年度任用職員(司書)の欠勤減額が発生した日数(0日/R4年度実績)	0日	0日	総務企画係 北島
	災害や感染症蔓延時の図書館サービスのあり方検討	水害などの災害や、感染症蔓延時の図書館の施設やサービスのあり方について検討を行う。	その他事業 -	※指標の設定なし	(指標の設定なし)	-	総務企画係 若松
	消防・水防訓練の実施	火災等に備えて、消防訓練等を年に1回以上実施する。	その他事業 -	消防訓練の実施:年1回	年1回 ※消防訓練に加えて、R5.5までに水防訓練を実施予定。	消防訓練1回 水防訓練1回	総務企画係 若松
	【重点事業】 図書館業務システムの安定的な運用と次期電算システムの更新準備	業務システムの安定的な運用を継続するとともに、電算システムの更新を行う。	その他事業 -	① 大規模な障害発生回数(R4:0件) ② R6.2月1日からの新システム稼働	①0回 ②R6.2月1日からの新システム稼働	①0回 ②R6.2.1稼働	総務企画係 矢ヶ部
	【新規事業】 佐賀市スーパーアプリとの連携	佐賀市スーパーアプリと連携し、デジタル利用カードやシングルサインオンによるアプリでのワンストップサービスを実現する。	その他事業 -	R5年度末までのサービス開始	R5年度末までのサービス開始	R6.2.1稼働	総務企画係 矢ヶ部
	雑誌スポンサー制度の運用	雑誌スポンサー制度の継続運用を行う。	その他事業 -	① 申込者:3者 ② 雑誌:4誌 有限会社岩永:2誌、株式会社松陰:1誌、日本蒸留酒造組合:1誌	雑誌:4誌	課題解決のため実際の運用は休止	総務企画係 富吉
	全国の先進図書館の事例収集や有識者による講座への参加	全国図書館大会や全国公共図書館研究会への参加等により、全国の先進図書館の事例や最新の研究について情報収集を行う。	その他事業 -	① 全国図書館大会への参加人数(2人/R4年度実績) ② 全国公共図書館研究会(インターネット配信)への参加人数(なし/R4年度実績)	①1人 ②1人 ※リモート参加予定	①なし ②なし ※現地開催のみ	総務企画係 北島
	資料のリユース(団体・市民への頒布)	除籍資料を、市立小中学校などの関連団体や市民に対して頒布する。	その他事業 -	① 各団体への提供の機会(年3回/R4年度実績) ② 市民への提供の機会(年1回/R4年度実績)	①3回 ②1回	①3日 ②2回	サービス一係 江里口
	【大和館】 ブックリサイクル ※再掲	大和館の除籍した図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。	イベント (1-3-8)	・参加人員(R4実績) 譲渡冊数7,414冊 参加人数1,575人	参加人数 1,050人	924人	大和館 駄原、姉川、副島、伊東、堤

事業内容	【諸富館】 ブックリサイクル ※再掲	諸富館の除籍した図書・雑誌を 利用者に無償で譲渡する。	イベント (1-3-13)	・除籍雑誌・書籍の配布数 (1回目:336冊、2回目:412冊)	800冊	1,125冊	諸富館 吉田
	【東与賀館】 ブックリサイクル ※再掲	東与賀館の除籍した図書・雑誌を 利用者に無償で譲渡する。 (R5年度は、業務の都合により 雑誌リサイクルを翌年度に延期)	イベント 1-3-14	①-1 除籍(図書)資料の配布数(1,420点/R4.10実績) ②-1 図書リサイクル参加人数(278人/R4.10実績) ①-2 除籍(雑誌)資料の配布数(649点/R5.1~2実績) ②-2 雑誌リサイクル参加人数(141人/R5.1~2実績)	①2,500点 ②450人	①648点 ②179人	東与賀館 古賀み、古賀れ、 内田、大川内
	【新規】 【久保田館】 ブックリサイクル ※再掲	久保田館の除籍した図書・雑誌を 利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 除籍資料の配布数(18点/R5.3実績) ② リサイクル参加人数(12人/R5.3実績)	①20点 ②10人	①25点 ②8人	久保田館 蒲原、小松、篠原
	太陽光パネルによる 自家発電の実施	本館屋上に設置した太陽光パネルで 自家発電した電気を施設の運用に 利用する。	その他事業 -	・平均発電量:3,085kwh/月(R4.4~R4.12実績)	3,100kwh/月	2,968kwh/月	総務企画係 若松

令和5年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	②市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。
サービス計画に記載した具体例	○市民団体やボランティアとの協働 ○有識者や市民の意見の活用
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・ボランティア同士の交流や図書館職員と意見交換ができる機会が必要である。(ボランティアアンケートの意見より)

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別 企画書	指標(実績)	R5目標値	R5実績	担当係(館) 担当者
事業内容	「図書館を友とする会・さが」との協働	イベントの共催や意見交換会への館長の出席等を継続して実施する。	その他事業 -	①「図書館を友とする会・さが」との共催イベント回数(2回/R4実績) ②意見交換会への館長の出席(1回/R4実績)	①協働事業2回 ②意見交換会1回	①1回 ②1回	総務企画係 増本
	おはなしボランティアとの協働	おはなしボランティアと協働し、定例や季節のおはなし会を開催する。	その他事業 -	①読み語りボランティアを対象としたアンケートでの総合的な満足度(R5.1月調査)本館:70% ②おはなし会の開催回数 126回(本館:54、大和:18、諸富:23、東与賀:18、富士:12、久保田:1)	①本館:80% ②本館:毎週土曜日	①92% ②71回	サービス二係・各分館 原口
	読み語りボランティア養成講座の実施 ※再掲	ボランティアの知識や技術の向上を図るとともに、ボランティア活動に興味がある人が活動に参加できるように講座を開催する。	イベント (2-3-1)	①講座の開催回数(2回/R4実績) ②講座の受講人数(延べ23人/R4実績) ③読み語りボランティアを対象としたアンケートでの「研修の充実」に対する満足度(70%/R5.1月調査)	①2回 ②20人 ③80%	①2回 ②34人 ③92%	サービス二係 寺下・永淵
	対面朗読ボランティアとの協働	対面朗読ボランティアと協働し、本館ハンディキャップサービスコーナーで対面朗読サービスを行う。	その他事業 -	①対面朗読ボランティアの満足度(41.7%/R4.12月～R5.1月調査) ②対面朗読サービスの開催日数(50日/R4年度)	①50% ②51日	①68.4% ②50日	サービス一係 江里口

事業内容	対面朗読ボランティア 初級養成講座の実施	新たにボランティア活動を希望する人や、 既にボランティア活動中の人を対象に 養成講座を開催する。	イベント 4-2-1	① 講座の開催回数 (1回/R4年度) ② 講座の受講人数 (12人/R4年度) ③ 対面朗読ボランティアを対象としたアンケートでの 「研修の充実」に対する満足度 (42.9%/R4.12月～R5.1月調査)	①年1回 ②20人(定員) ③50%	①年1回 ②19人 ③52.6%	サービス係 江里口
	園芸・植栽・館内の花の お世話のボランティアとの 協働(本館)	外周部の植栽や花壇、館内の花の世話を 行うボランティアに対し、肥料や苗、 備品や消耗品の提供を行う。また、 ボランティア活動保険の保険料を 図書館で負担する。	その他事業 -	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 若松
	市民団体やボランティアを 対象としたアンケート調査の 実施	図書館で活動する市民団体や ボランティアを対象とし、活動の実態や 満足度を把握するためのアンケート 調査を実施する。	その他事業 -	・アンケート調査の実施(年1回/R4実績)	年1回(R4同等)	1回	総務企画係 矢ヶ部
	図書館への手紙(一般)	利用感想などを記載して、図書館に送る ポストを本館に設置するとともに、 手紙と図書館の返事について、館内や ホームページで閲覧できるようにする。	その他事業 -	・一週間以内の返答率(R4見込:92.9%)	90.0%	85.7%(60/70)	総務企画係 矢ヶ部
	図書館協議会委員の改選(R5)	図書館協議会委員の改選を行う。 ※現委員の任期(R5.11末)	その他事業 -	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 増本、矢ヶ部
	図書館協議会の開催	有識者と公募委員で構成される 図書館長の諮問機関である「図書館 協議会」を年に2回(委員改選の年は 3回)開催し、図書館の運営やサービスに ついて諮問を行う。	その他事業 -	・佐賀市立図書館協議会の開催(年2回/R4実績) ※委員非改選年	年3回 ※委員改選年	3回	総務企画係 増本、矢ヶ部

佐賀市立図書館利用者アンケート結果(令和6年度)

実施期間:令和6年4月26日(金) から 令和6年5月29日(水)まで

回答総数:502(71) ※括弧内は Web での回答

内訳:

本館:184(34) 大和:79(3) 諸富:49(6) 富士:70(1) 東与賀:36(5)

三瀬:25(3) 川副:39(6) 久保田:16(9) 分室:4(4)

問1 年齢・利用者登録(お住まい)についてお答えください。(令和6年5月1日時点の年齢でお答えください。)

【年齢】

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答	
	回答数	割合	回答数	割合
12歳以下	64	12.7%	45	12.9%
13歳~18歳	9	1.8%	5	1.4%
19歳~29歳	12	2.4%	9	2.6%
30代	54	10.8%	36	10.3%
40代	82	16.3%	57	16.4%
50代	73	14.5%	42	12.1%
60代	104	20.7%	82	23.6%
70代以上	90	17.9%	67	19.3%
未回答	14	2.8%	5	1.4%
	502		348	

【利用登録(住まい)】

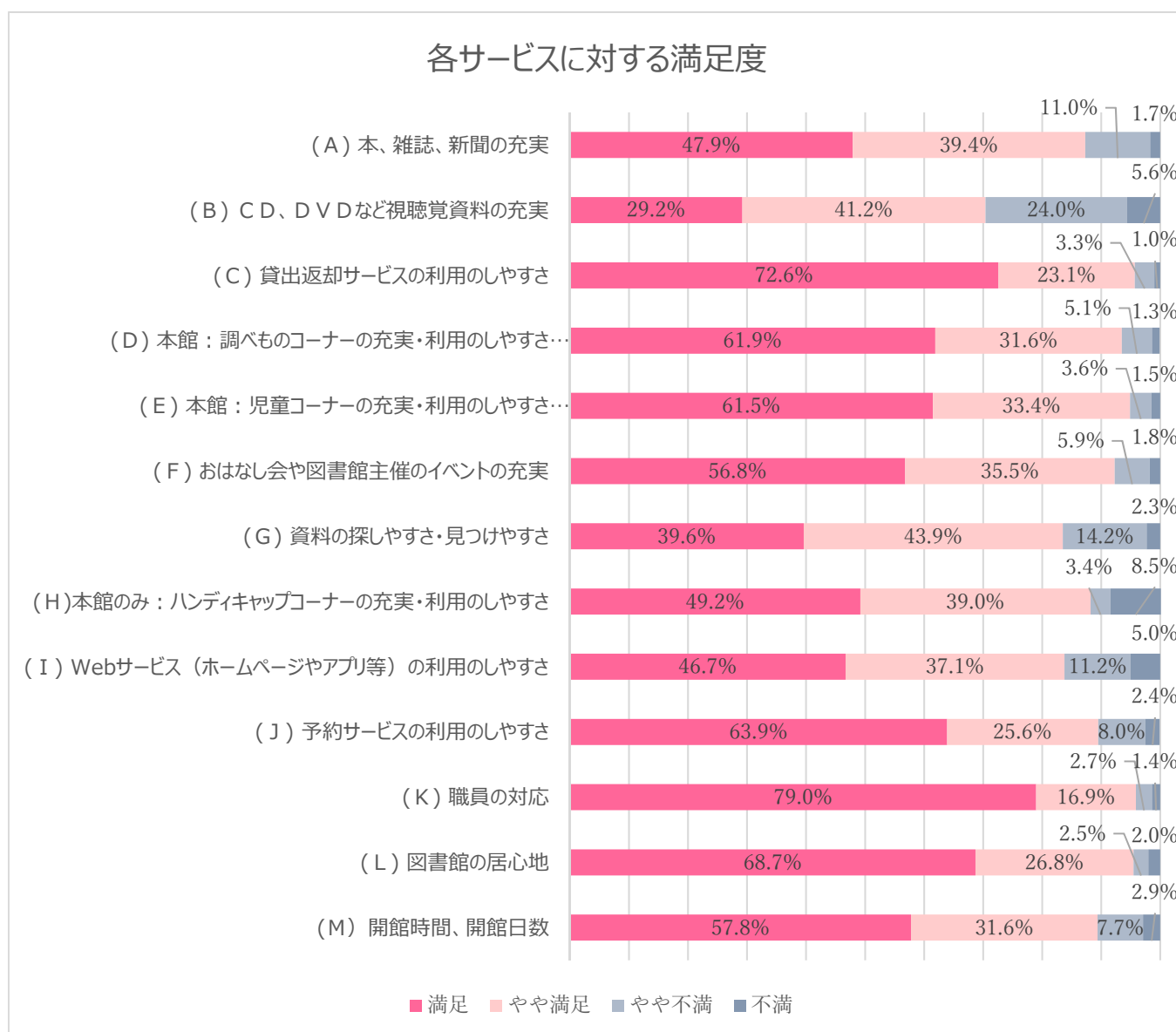
回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答	
	回答数	割合	回答数	割合
利用登録有(佐賀市在住)	425	89.7%	294	84.5%
利用登録有(広域圏内)	19		15	4.3%
利用登録有(通勤通学)	0		2	0.6%
利用登録有(その他)	2		2	0.6%
利用登録有(不明)	4		0	0.0%
利用登録無(佐賀市在住)	11	2.8%	8	2.3%
利用登録無(広域圏内在住)	1		0	0.0%
利用登録無(広域圏外在住)	2		0	0.0%
利用登録無(不明)	0		0	0.0%
不明	38	7.6%	27	7.8%
	502		348	

問2 佐賀市立図書館への満足度について、あてはまるものに○をつけてください。

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答	
	回答数	割合	回答数	割合
満足	316	87.4%	206	87.1%
やや満足	123		97	
やや不満	11	2.8%	13	4%
不満	3		1	
未回答	49	9.8%	31	8.9%
	502		348	

問3 佐賀市立図書館の各サービスについての満足度を教えてください。

※未回答及び「わからない・利用しない」を母数から除く



※昨年度との比較

(A) 本、雑誌、新聞の充実 (n=480)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	230	87.3%	47.9%	148	88.5%	46.0%
やや満足	189		39.4%	137		42.5%
やや不満	53	12.7%	11.0%	33	11.4%	10.2%
不満	8		1.7%	4		1.2%
	480			322		

(B) CD、DVDなど視聴覚資料の充実 (n=342)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	100	70.4%	29.2%	58	70.6%	25.4%
やや満足	141		41.2%	103		45.2%
やや不満	82	29.6%	24.0%	53	29.3%	23.2%
不満	19		5.6%	14		6.1%
	342			228		

(C) 貸出返却サービスの利用のしやすさ (n=489)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	355	95.7%	72.6%	233	94.3%	68.9%
やや満足	113		23.1%	86		25.4%
やや不満	16	4.3%	3.3%	16	5.6%	4.7%
不満	5		1.0%	3		0.9%
	489			338		

(D) 本館:調べものコーナーの充実・利用のしやすさ / 分館:調べもの相談の対応 (n=373)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	231	93.5%	61.9%	170	94.2%	65.6%
やや満足	118		31.6%	74		28.6%
やや不満	19	6.4%	5.1%	13	5.8%	5.0%
不満	5		1.3%	2		0.8%
	373			259		

(E) 本館：児童コーナーの充実・利用のしやすさ / 分館：子どもや保護者の利用のしやすさ (n=335)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	206	94.9%	61.5%	152	94.8%	66.4%
やや満足	112		33.4%	65		28.4%
やや不満	12	5.1%	3.6%	11	5.2%	4.8%
不満	5		1.5%	1		0.4%
	335			229		

(F) おはなし会や図書館主催のイベントの充実 (n=273)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	155	92.3%	56.8%	100	92.0%	53.5%
やや満足	97		35.5%	72		38.5%
やや不満	16	7.7%	5.9%	15	8.0%	8.0%
不満	5		1.8%	0		0.0%
	273			187		

(G) 資料の探しやすさ・見つけやすさ (n=437)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	173	83.5%	39.6%	126	88.7%	43.2%
やや満足	192		43.9%	133		45.5%
やや不満	62	16.5%	14.2%	25	11.3%	8.6%
不満	10		2.3%	8		2.7%
	437			292		

(H) (本館のみ)ハンディキャップコーナーの充実・利用のしやすさ (n=59)

回答内容	今年度回答			(参考)昨年度回答		
	回答数	割合		回答数	割合	
満足	29	88.2%	49.2%	18	86.1%	50.0%
やや満足	23		39.0%	13		36.1%
やや不満	2	11.9%	3.4%	4	13.9%	11.1%
不満	5		8.5%	1		2.8%
	59			36		

(I) Web サービス(ホームページやアプリ等)の利用のしやすさ (n=321)

※R5 までは「図書館ホームページの利用のしやすさ」

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答		
	回答数	割合	回答数	割合	
満足	150	83.8%	69	76.9%	31.2%
やや満足	119		46.7%		101
やや不満	36	16.2%	37	23.0%	16.7%
不満	16		11.2%		14
	321		221		

(J) 予約サービスの利用のしやすさ (n=410)

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答		
	回答数	割合	回答数	割合	
満足	262	89.5%	161	87.5%	56.1%
やや満足	105		63.9%		90
やや不満	33	10.4%	21	12.5%	7.3%
不満	16		8.0%		15
	410		287		

(K) 職員の対応 (n=490)

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答		
	回答数	割合	回答数	割合	
満足	387	95.9%	253	97.4%	74.9%
やや満足	83		79.0%		76
やや不満	13	4.1%	8	2.7%	2.4%
不満	7		16.9%		1
	490		338		

(L) 図書館の居心地 (n=489)

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答		
	回答数	割合	回答数	割合	
満足	336	95.5%	240	95.6%	70.8%
やや満足	131		68.7%		84
やや不満	12	4.5%	10	4.4%	2.9%
不満	10		2.5%		5
	489		339		

(M) 開館時間、開館日数 (n=481)

回答内容	今年度回答		(参考)昨年度回答	
	回答数	割合	回答数	割合
満足	278	89.4%	190	56.9%
やや満足	152		103	30.8%
やや不満	37	10.6%	37	11.1%
不満	14		4	1.2%
	481		334	

重点事業実施計画表(令和3年度～7年度)

基本目標		課 題			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1.個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館	未利用者をターゲットにした広報のあり方検討	利用者用無線LANAP増設事業	ビジネス支援・郷土資料分野についてのサービスのあり方検討	学習成果を発表する機会を提供するための取組	令和7年度 ↑
	おはなし会やイベントの再開(コロナ関連)			視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討	
	郷土に関する資料等の情報を小中学校への提供	↑	↑	子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組	↑
	小中学校図書館と連携した子ども司書講座の開催	↑	↑	図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組	↑
2.子どもの成長に役立つ図書館	「新しい生活様式」に合わせた図書館のあり方検討(コロナ関連)	↑	↑	↑	↑
	外国語での図書館サービス案内作成や多言語の表示を追加	↑	↑	↑	↑
		電子図書館システム試験導入事業(構築)	電子図書館システム試験導入事業(運用・効果検証)	↑	↑
		読書が困難な人々に対するサービスに関する県内の状況調査	障がいにより読書が困難な人々に対するサービスのあり方再検討	↑	↑
3.多様な人々が集う図書館	施設整備計画(令和4～8年度)の策定	・本館の一部改修 ・大規模改修実施計画策定	・本館の一部改修 ・大規模改修事業(R5:基本構想・基本計画策定)	大規模改修事業(R6:基本構想・基本計画、R6～7:基本設計・実施設計)	大規模改修事業(R6～7:基本設計・実施設計策定)
	電算システム更新に向けて機能等の検討(電子書籍・RPAの導入検討)	図書館情報ネットワークシステム更新事業(R4:要件定義等作成)	図書館情報ネットワークシステム更新事業(R5:システム更新)	業務継続性の向上や危機管理に関する取組	↑
	ボランティアの活動機会を確保するための取組(コロナ関連)		業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討	↑	↑
			講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討	↑	↑

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	電子図書館システム試験導入事業(R6年度:運用・効果検証)
------------	--------------------------------------

事業年度	令和4年度～令和7年度	令和6年度事業費	1,109千円	担当係・担当者	総務企画係	矢ヶ部
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館/②子どもの成長に役立つ図書館/③多様な人々が集う図書館 ①-②:くらしのこと・趣味・地域の課題解決に貢献します。②-③:子どもが読書に親しみとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。/③-②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。					

事業概要 (目的・内容)	<p>・「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、電子図書館システムの試験導入を行う。特に子ども(小学生～高校生)向けの資料を中心に提供を行う。</p> <p>【スケジュール】 システムの調達及び構築:令和4年度 試験運用期間:令和5年6月～令和7年5月 【事業費】 総額(R4～R7年度):4,365,000円(税込) ◎内訳 構築費用(R4):770,000円、サービス利用料(R5～R7):1,320,000円(月額税込55,000円) 商用電子書籍使用料:2,275,000円(R4～R7) ※R6年度予算の教育部長枠として、上記費用とは別に「935千円」を計上している。 (読み放題パックのコンテンツ追加(100点)の2年分の契約用)</p>
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭での子どもの自由な読書や学習に活用できるよう、学校を中心に利用促進の取り組みが必要である。 ・R7年度の当初予算要求(R6.9月頃)までに、システムの効果検証と今後の方針の決定を行う必要がある。 ・商用電子書籍は紙の書籍に比べて2～3倍高額かつ利用期限があるものが多い。試験運用期間後も継続することになった場合、継続的に運用するために、どのような方針で予算を確保し資料を収集するか検討していく必要がある。 ・商用電子書籍とは別に、郷土関連資料(子どもの学習に役立つ郷土資料・行政資料・市民や子どもの学習成果)の登録を継続して実施したい。
------------------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
サービスの運用	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	-
	実績	*	*	*	*	*								予定どおり	
利用者データ登録・更新作業 ・学校利用者及び一般利用者	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	一般分はサービス1係と連携して作業を行う。 【学校】随時分:学校教育課から連絡があった場合に随時作業。 3月:新小学校1年生分のデータ登録 4月:卒業生(中学3年生)分のデータ削除 【一般】毎週水曜日及び毎月最終水曜日
	実績	*	*	*	*	*								予定どおり	
商用電子書籍の選書・発注	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	サービス2係児童担当が選書を行う。
	実績	*	*	*	*	*								予定どおり	
独自資料(郷土関連資料)登録	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	サービス2係レファレンスサービス担当と連携して登録作業を行う。
	実績	*	*	*	*	*								予定どおり	
利用統計データの取得	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	-
	実績	*	*	*	*	*								予定どおり	
学校向けアンケート調査 (児童生徒・教職員)	年間計画	*	*											△	学校の負担軽減のため児童生徒へのアンケートは実施せず、教員及び学校司書へのアンケートを行った(~8/16)。現在集計中。
	実績				*	*								遅れている	
その他利用者向けアンケート調査	年間計画	*	*											△	一般向けの利用はユニークユーザが少ないことや、学校や家庭での子ども達の利用に焦点を当てて方針を作成するため、今年度のアンケート調査は見送る。
	実績	-	-											-	
R7年度予算要求に向けた方針作成	年間計画	*	*	*	*	*	*							△	アンケート調査や学校の教職員から直接伺った意見・要望を基に整理する予定。また、補助金の活用についても調査中。
	実績	*	*	*	*	*								遅れている	
利用促進に関する取組 (学校への活用事例展開等)	年間計画				*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	7/29 兵庫小学校教職員向け研修
	実績				*									遅れている	

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	R7年度予算要求に向けた方針	-	-	(作成中)	方針の作成	-
	商用電子書籍の閲覧回数	-	7,126回	2,392回 ※R6.7.31時点	8,600回	統計データの取得
	郷土関連資料の閲覧回数	-	3,873回	1,169回 ※R6.7.31時点	4,700回	統計データの取得
<p>・拡充の方向性:「複数人で同時に利用できる資料」「調べ学習や郷土学習に利用できる資料」「多様性・メンタルケアに関する資料」「借りているところを見られたくない資料」など。</p> <p>・電子黒板への投影について、権利者側に一括許諾を得るよう調整する。</p> <p>・補助金や寄付など外部資金を活用して電子書籍を拡充させていく。</p>						

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	大規模改修事業(R6年度:基本構想・基本計画策定、基本設計・実施設計策定)					
事業年度	令和5年度～令和8年度	令和6年度事業費	0千円(補正予算計上予定)	担当係・担当者	総務企画係	増本・若松
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。			

事業概要 (目的・内容)	<p>図書館本館の建築物や設備の劣化等による不具合を解消するために、全体的な改修を行う。 あわせて、バリアフリー化やデジタル化による利便性の向上や、滞在できる居場所づくりに向けたレイアウトの見直しなど、これからの図書館に求められる施設機能向上のための改修にも取り組み、「SAGA LIBRARY PARK」を体現する。</p> <p>【事業スケジュール】 ○1年目～2年目(R5～6年度) 基本構想・基本計画の策定 ○3年目～4年目 基本設計・実施設計 ○5年目以降 整備工事</p>
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ○実施規模の早急な議論が必要(劣化、老朽化等による補修、機器類の更新は最優先) ○事業費用を補うの財源確保に早急に取り組む必要あり ○工事の方針の早急な決定が必要(休館期間、図書資料の仮移転先、代替サービス) ○リニューアル後の運営体制の検討が必要(自動車図書館、分館のあり方、開館時間等) ※現職員体制での事務の見直しレベルではなく、抜本的な検討を要す ○人件費高騰、物価高騰に伴い、工事実施時には費用が大きく上振れする恐れあり(市村記念体育館、アサヒビール鳥栖工場等) ○資材調達の不都合、人材不足、労働基準法改正(働き方改革)の影響等による工期延伸の恐れあり
------------------------------------	--

内容	上半期				下半期				進捗	詳細				
	4	5	6	7	8	9	10	11			12	1	2	3
基本構想・基本計画策定業務	年間計画	*	*	*										4～5月頃、パブリックコメント実施 パブリックコメント終了次第、 市議会に報告
	実績	*	*	*										
基本設計・実施設計予算事務	年間計画	*	*	*	*	*	*							建築住宅課と連携しながら事務を実施
	実績	*	*	*	*	*								
プロポーザル公募事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*				建築住宅課と連携しながら事務を実施
	実績													
基本設計・実施設計策定事務	年間計画								*	*	*	*		建築住宅課と連携しながら事務を実施
	実績													
財源調査・調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	関係部局・機関と連携しながら事務を実施
	実績	*	*	*	*	*								
仮移転先調査・調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	関係部局・機関と連携しながら事務を実施
	実績	*	*	*	*	*								
リニューアル後の運営体制の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	有識者との意見交換、情報収集 サウンディング調査等の実施
	実績													

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	基本構想・基本計画の策定	—	策定委員会を構成し、素案を作成。素案を議会に説明	構想・計画の策定	構想・計画の策定	—
基本設計・実施設計の策定	—	—	事業予算の確保	委託業者の決定	—	
リニューアル後の運営体制の検討	—	—	未実施 (設計業務と連動)	方針の決定	—	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		学習成果を発表するための取組				
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	71千円	担当係・担当者	総務企画係 サービス1係	豊福 澗
関連する基本目標/方向性 ①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 方向性④: 市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。						

事業概要 (目的・内容)	<p>図書館の役割として、市民の生涯学習のための資料や情報の提供や各種講座等のイベントの開催だけでなく、それらも含め、市民が学んだ学習の成果を発表する機会を提供することも重要であると考えます。</p> <p>現在、多目的ホールやギャラリー等の館内施設の貸し出しについては、団体に限定して貸し出しを行っているため、個人単位での学習の成果を発表できる機会の提供はできていない。</p> <p>そこで、より多くの市民に学習の成果を発表できる機会を提供するために、図書館主催による個人の作品を集めた展示会等の開催などを検討する。この他に、現在行っている以下の事業についても引き続き継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子図書館での「調べる学習コンクール優秀作品」の登録による提供 ○図書館主催による「対面朗読ボランティア初級養成講座」および「読み語り講座」の開催 ○「花ボランティア」による館内の花による飾り付けについて、図書館公式インスタグラムでの発信 ○図書館の施設を利用し編集等されている詩誌「立夏」、「扉」の受け入れによる図書館資料としての提供
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>○図書館の大規模改修を踏まえて多目的ホールやギャラリー等の2階施設やその他のスペースの整備について、またそれに合わせた運用方法について検討していく必要がある。</p> <p>○団体による活動について、チラシ・ポスターの設置依頼で来館される団体に図書館施設の利用についての情報提供や普段、図書館施設を利用して活動されている団体に学習の成果の発表することについての提案も必要であると考えます。</p> <p>○図書館で作品等を公募する際は、「図書館の資料を参考に作った作品」などのテーマを設定し、図書館資料の紹介から利用にまで繋げる展示内容とするなどの工夫をすることも必要であると考えます。</p>
------------------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
市民が学習成果を発表するイベント等の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	
	実績	*	*											遅れている	
電子図書館へ「調べる学習作品コンクール優秀作品」の資料登録	年間計画								*	*				△	
	実績													実施予定	
対面朗読ボランティア初級養成講座の開催	年間計画				*				*	*				△	サービス係ハンディキャップサービス担当で、対面朗読ボランティア初級養成講座を開催する。
	実績				*									募集事務を実施	
対面朗読ボランティアによる対面朗読の実施	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	対面朗読ボランティアによる実施
	実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
読み語り講座の開催	年間計画								*	*				△	サービス二係児童サービス担当で読み語り講座を開催する。
	実績													実施予定	
図書音楽フェスの開催	年間計画								*	*				△	
	実績													実施予定	
花ボランティアによる館内等の花による飾り付け	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	
	実績	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	年間計画													△	
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	対面朗読ボランティアの新規登録者数	11人	16人	養成講座は今後実施予定	18人	対面朗読ボランティア初級養成講座受講者のボランティア登録者数
	読み語りボランティア養成講座(R4年度)及び読み語り講座(R5年度)受講者数 * 延べ人数	30人	34人	実施予定	35人	読み語り講座の受講者数 * 延べ人数
	図書館音楽フェスへの参加者数	-	-	実施予定	実施	市民の学習成果を発表するイベントへの参加者数

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	視聴覚資料・マンガ資料の収集方針検討					
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	木村・社本
関連する基本目標/方向性	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館		方向性②:くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。			

事業概要 (目的・内容)	<p>○視聴覚資料 本館が開館してから30年が経過し、市民のライフスタイルや情報機器・技術も大きく変化を遂げている。視聴覚資料についても、ビデオデッキが既に生産終了していることから、ビデオテープの利用は激減し、保存状態も悪くなっている。CDやDVDはまだ現役ではあるものの、一般向けのサブスクリプション配信サービスの普及により、視聴の方法も媒体を利用する形からインターネットを利用した形が主流になってきている。そこで、今後求められるニーズに即して、配信サービスの導入や書架づくりのあり方などを検討し、収集方針を改める。</p> <p>○マンガ資料 開館以来、マンガ資料は読書習慣のない市民に対する図書館利用の入口としての役割を求められてきた。しかし、予算の削減に伴って、新規購入を控えざるをえない状況が長く続いており、コレクションとして魅力のないものになっている。以前は「マンガ＝娯楽」というイメージが強かったが、近年は「マンガ＝日本の文化」として評価されるようになっており、世の中の認識の変化に即した資料価値や作品性に基づく収集と書架づくりを行うため、収集方針を改める必要がある。</p>
-----------------	---

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>○視聴覚資料 ・資料費自体が少ないため、書架の鮮度維持が難しい。 ・資料の状態悪化と利用の減少について、分析と対策が必要。 ・配信サービスを導入するにあたり、コストやメリット・デメリットを検証する。</p> <p>○マンガ資料 ・書架の陳腐化と資料の損耗が進んでいる。 ・貸出し利用に伴う汚損・破損、紛失、未返却が起りやすい。 ・性質上、多巻ものが多く、出版流通のライフサイクルも早い。</p>
-----------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3	
【視聴覚資料】 動きや状態の悪い資料の整理	年間計画	*	*	*											予定どおり	
	実績	*	*	*												
情報収集と現状の把握	年間計画				*	*	*								遅れている	
	実績															
収集方針の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*	*	実施予定	
	実績															
【マンガ資料】 抜けや状態の悪い資料の整理	年間計画	*	*	*											遅れている	
	実績			*												
書架配分の見直し・資料更新	年間計画				*	*	*								遅れている	
	実績					*										
収集方針の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*	*	実施予定	
	実績															
	年間計画															
	実績															

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	収集方針の一部改定	-	-	検討中	収集方針(案)の作成	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		子どもの利用登録率や貸出点数を増加させるための取組													
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口	原口								
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性②:子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。												
事業概要 (目的・内容)	<p>(1)子どもの利用登録率増加のための取組 保護者に図書館利用が身近なものかつ有用であることを理解してもらうために、保護者向けに、講座等の情報発信とともに利用登録方法についての案内を行う(中学生以下の子どもの利用登録には保護者の同意が必要であるため)。</p> <p>①「佐賀市公式LINE」を利用し、講座開催の案内や「おすすめ本」の案内等と一緒に、利用登録方法の案内も送信する。 案内予定講座:「図書館を使った調べる学習小学生講座」「図書館を使った調べる学習コンクール」 「手作り絵本教室」「手づくり絵本コンテスト(仮)」</p> <p>(2)子どもの貸出点数を増加させるための取組 子ども達が本への興味・関心を持てるように、本と出会う機会を増やす。</p> <p>①おすすめの本小冊子の作成 小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けに、「おすすめ本」の冊子を作成し、図書館や児童館で配布する。 作成時期:夏休みと冬休みに合わせる(年2回作成)</p> <p>②おすすめの本・課題図書展示 本館児童コーナーで、季節の本等おすすめの本や読書感想文の課題図書の展示を行う。</p> <p>③ポップバルーンをとばそう!(こどもの読書週間の取組) 絵本や読み物の紹介カード(ポップ)を利用者から募り、本への関心・興味を促し、図書館の利用促進につなげる。 図書館から一方的に本を紹介するのではなく、利用者の声を取り入れることで、情報の双方向性を深めたい。</p>														
	本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>○おすすめ本の紹介等については、子どもたちが興味を持つ資料の選定をする。</p> <p>○資料を複数所蔵することで、「読めなかった」という状況を可能な限りなくしたい。</p> <p>○各講座については、子どもたちが参加しやすい日程調整をし、広報を十分にすることで多くの子どもたちに参加をしてもらう。</p>													
事業内容	内容	上半期			下半期			進捗	詳細						
		4	5	6	7	8	9			10	11	12	1	2	3
	おすすめの本小冊子の作製および長期休暇中の展示	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*				
		実績	*	*	*	*	*								
	おすすめの本・課題図書の展示	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績	*	*	*	*	*								
	ポップバルーンをとばそう!(こどもの読書週間)	年間計画	*	*									*		
		実績	*	*											
	調べる学習小学生講座/コンクール	年間計画	*	*	*	*	*	*	*						
		実績	*	*	*	*	*								
	手づくり絵本教室 絵本コンテスト(仮)	年間計画	*	*	*	*	*	*	*						
		実績	*	*	*	*	*								
		年間計画													
		実績													
	年間計画														
	実績														
成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法									
	ポップバルーンの枚数(参加者数)	205	320	170	350										
	手づくり絵本教室申込者	31	37	44	40										
	調べる学習小学生講座申込者	20	10	20	20										
	児童書の貸出点数	555,057	520,264	165,910 (7月末現在)	556,000										
	子ども(0~12歳)の登録者数(市内在住)	5,972	5,773	5,734 (7月末現在)	6,000										

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組					
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性①:子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。			

事業概要 (目的・内容)	<p>乳幼児を含む子ども達が楽しめる資料やイベント等があることを知ってもらい、図書館に足を運んでもらうために、保護者である子育て世代に図書館の情報を広く届くようにする。</p> <p>①「佐賀市公式LINE」を利用した子育て世代への情報配信 ・定例おはなし会の情報発信 館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」だけでなく、「佐賀市公式LINE」で情報配信をする。 ・新着「赤ちゃん絵本」の案内 4か月に一度程度、新たに受け入れた赤ちゃん絵本等の紹介をするとともに、利用登録等についても案内する。</p> <p>②赤ちゃん絵本ガイドブックの配布 図書館各館で配布するとともに、健康づくり課が行っている乳児家庭全戸訪問の際に配布する。</p>
-----------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>・現在のおはなし会の案内は、館内チラシ・ポスター・ホームページと県立図書館経由の「ワイヤーママ」のみである。 図書館にある程度関心がある人しか知ることができないので、「佐賀市公式LINE」で子育て世代への情報配信をする。</p>
-----------------------------	--

事業内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
		年間計画	実績	年間計画	実績	年間計画	実績	年間計画	実績	年間計画	実績			年間計画	実績
定例おはなし会の案内	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	実績	*	*	*	*	*									
新着「赤ちゃん絵本」の紹介	年間計画			*				*			*		遅れている		
	実績														
赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	予定どおり	
	実績	*	*	*	*	*									
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	おはなし会の参加者	737	903	543 (7月末現在)	1,500	
	23歳～39歳(子育て世代)の登録者数(市内在住)	17,502	17,737	17,159 (7月末現在)	17,600	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	学校図書館との情報交換や支援のあり方検討					
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口・陣内
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性③: 子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。			

事業概要 (目的・内容)	子どもたちにとって一番身近な図書館である学校図書館への支援は、図書館の重要な役割であると考えられる。これまで、学校図書館とのネットワーク化や団体貸出などを通じて支援を行ってきたが、積極的に情報共有を行い、団体貸出にとどまらない支援のあり方を検討する。
-------------------------	---

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	団体担当とともに学校図書館事務職員研修会に参加し、まずは学校図書館の現状を学ぶことが必要。そのうえで、児童担当の講座等について協力を依頼したり、学校が求める支援を検討する。
------------------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
学校図書館との意見交換	年間計画				*	*								予定どおり	
	実績				*	*									
検討した内容についてまとめ、方針を決定	年間計画									*	*	*			
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	方針決定	-	-	検討中	方針決定	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	高齢者が健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることの検討
------------	---

事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス係	内山
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館		方向性②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。			

事業概要 (目的・内容)	<p>高齢者に対して、図書館の普段の利用の有無に関わらず、健康で生きがいを持って生活するために図書館ができることについて検討する。</p> <p>庁内の高齢者福祉及び保健・介護に関する各部署、および、保健・医療・介護分野の関係機関、施設等における取り組みに対して、図書館が連携・協力できることを検討する。</p>
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>○佐賀市の高齢福祉及び保健・介護に関する部署との連携・協力が必要</p> <p>○保健・医療・介護分野の関係機関、施設等との連携・協力が必要</p>
------------------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
他の公共図書館等の高齢者向けサービスの実例等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	
	実績														
庁内各部署における取り組み状況等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	高齢福祉課、ほか
	実績														
関係機関、施設等における取り組み状況等の調査	年間計画	*	*	*	*	*	*							遅れている	社会福祉協議会、佐賀中部広域連合、地域包括支援センター、ほか
	実績														
庁内各部署及び関係機関等との意見交換	年間計画				*	*	*	*	*	*				遅れている	
	実績														
調査等の内容を基に具体案の検討	年間計画										*	*	*	実施予定	
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	高齢者の満足度向上に向けたサービスの検討	-	-	調査項目の協議中	具体案の検討	事務事業

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	今後の外国語資料のあり方検討
------------	-----------------------

事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	西村
------	------------	----------	-----	---------	--------	----

関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館	方向性②: 日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。
--------------	--------------	--

事業概要 (目的・内容)	図書館に求められる多文化サービスについて、現状を把握するため、在留外国人のニーズ調査や自治体・関連機関や他図書館のコミュニティ報告書等を参考に情報を収集し、今後の外国語資料のあり方を検討する。
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合っていないため、利用が少ない。 ・予算が少なく購入数が限られるため、所蔵資料の情報が古い。 ・職員の多文化サービスに関する情報が不足している。 ・在留外国人がどこでどのように情報を入手しているか把握する必要がある。 ・出身国または出身地域、性別、年齢、滞在年数、使用言語によってもニーズが異なることが予想される。
------------------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
情報収集、および現状の把握	年間計画	*	*	*	*	*	*								
	実績	*	*												遅れている
外国語資料のあり方の検討	年間計画							*	*	*	*	*	*		
	実績														実施予定
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	外国語資料のあり方をまとめる	-	-	検討中	報告作成	

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	障がい等により読書が困難な方に対するサービスのあり方再検討					
事業年度	令和5年度～令和6年度	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス係	淵・坂本
関連する基本目標/方向性	③多様な人々が集う図書館		方向性②:日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。			

事業概要 (目的・内容)	読書/パリアフリー法の施行を受け、視覚障害だけでなく発達障害、肢体不自由その他の障害など読書が困難な人々に対するサービスを充実させていくことが必要である。 これまでのサービスを見直し、視覚障害者等がより円滑に利用することができるようサービス内容の再検討を行う。
-------------------------	---

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・佐賀市や県の専門性を持った機関からのアドバイスや協力を仰ぎ、限られた資源でどのようなサービスができるかを検討する。 ・大規模改修に向けて施設のバリアフリー化やハンディキャップサービスコーナーの見直しも併せて検討していく。
------------------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3		
県外を含め他の公共図書館のサービスの実例等調査	年間計画	*	*	*	*	*	*									遅れている	県内外公共図書館
	実績																
庁内関係部署における取組状況等調査	年間計画	*	*	*	*	*	*									遅れている	障がい福祉課 ほか
	実績																
関係機関、施設等との連携・意見交換	年間計画			*	*	*	*	*	*	*						遅れている	佐賀県、佐賀県立視覚障害情報交流センター”あいさが”ほか
	実績																
調査等の内容を基に具体案の検討	年間計画									*	*	*				実施予定	
	実績																

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	障がい者の満足度向上に向けたサービスの検討	-	-	調査項目の協議中	具体案の検討	事務事業

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	業務継続性の向上や危機管理に関する取組
------------	----------------------------

事業年度	令和5年度～令和8年度	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	総務企画係	若松
------	-------------	----------	-----	---------	-------	----

関連する基本目標/方向性 ④市民と共に変革を進める図書館 方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。

事業概要 (目的・内容)	サービスの継続性を高め、災害時や大規模改修時の変化に対応できるように、図書館本館の設備のDX・クラウド化を検討する。 【事業スケジュール】 (R5年度) 改善点の整理 (R6年度) 電話設備DXの計画検討、業務システムのクラウド化の計画検討 (R7～8年度) 業務システムのクラウド化実施 (R9年度以降リニューアルに合わせて) 電話設備のDX実施
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	○大規模改修事業(リニューアル)の時期・内容に影響を受ける。 ○大規模改修の工事に入る前に実施するため、事前の予算化が必要。 ○先進事例や新サービスの情報収集が必要。
------------------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
電話設備DX	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	・電話自動応答(試験運用開始) ・主装置のクラウド化 ・電話自動送信 ・内線スマートフォン化
	実績	*	*	*	*	*	*								
業務システムクラウド化	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	△	・サーバー類のデータセンター化 ・将来の完全クラウド化検討	
	実績	*	*	*	*	*	*								ほぼ予定どおり
	年間計画												△		
	実績														
	年間計画												△		
	実績														
	年間計画												△		
	実績														
	年間計画												△		
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	電話設備DX計画策定	-	改善点の整理	内部協議中	計画策定 一部試験運用開始	試験運用開始
システムクラウド化計画策定	-	条件等の整理	内部協議中	計画策定		

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	業務効率化や外部団体等との協力・連携、外部資金の活用について検討
------------	---

事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	総務企画係	北島・富吉
------	------------	----------	-----	---------	-------	-------

関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館	方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。
--------------	-----------------	---

事業概要 (目的・内容)	限られた人員や予算の中で図書館サービスを効率的・効果的に提供するため、司書業務の効率化を図る。 また、外部団体等との協力・連携、外部資金の活用のための取組を行う。
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	・外部資金の活用について情報を収集し、活用について検討を行う。 ・外部団体の活用や他部署との協力・連携等について検討を行う。
------------------------------------	---

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
雑誌スポンサー制度を含めた外部資金活用の検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
	実績				*	*	*							企業と交渉中	
外部団体等との協働の可能性について検討	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
	実績	*	*	*	*	*								ほぼ予定どおり	
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	雑誌スポンサー制度の運用	雑誌4誌	なし	なし	雑誌7誌	実績

令和6年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	講演会等へ参加し職員の資質向上や将来のサービスのあり方検討					
事業年度	令和6年度(単年度)	令和6年度事業費	0千円	担当係・担当者	総務企画係	北島・鷺崎
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性：①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。			

事業概要 (目的・内容)	<p>各種研修会の実施により図書館職員として市民対応能力を強化する。 また、より質の高い図書館サービスを提供できるように、先進図書館の事例研究や有識者による講演会・外部研修等を積極的に活用し、研究・研修成果の共有を図ることで、図書館司書として専門知識や技術の向上を目指すとともに、将来の図書館サービスのあり方を検討する。</p>
-------------------------	--

本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>・講演会や研修への参加は業務の都合により参加できる者が制限されるため、館内研修等の機会を使って職員間で知識や技術の共有を図る。</p>
------------------------------------	--

内容		上半期					下半期					進捗	詳細		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1			2	3
職員の講演会や外部研修への参加	年間計画	*	*	*	*	*			*	*					
	実績	*	*	*	*	*			*	*				ほぼ予定どおり	
館内全体研修の実施	年間計画	*	*	*	*	*		*	*		*	*			R6.8予定分は台風10号接近のため延期
	実績	*	*	*	*	*		*	*		*	*		ほぼ予定どおり	
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														
	年間計画														
	実績														

成果	成果指標もしくは成果品	R4年度実績	R5年度実績	R6年度中間実績	R6年度目標値	調査方法
	佐賀県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会主催の研修への参加人数	のべ14名	のべ17名	のべ20名	のべ20名以上	
	全国図書館大会及び全国公共図書館研究集会への参加人数	2名	0名	-	各1名	
	館内全体研修の実施回数	8回	8回	3回	10回	